

Volume

1.0

Ability

データベース保守管理支援ツール

テーブルデータメンテナンス 操作マニュアル

目次

1.はじめに.....	2
2.動作環境.....	3
3.ライセンス.....	3
4.操作方法.....	5
4.1 初回起動時.....	5
4.1.1 サーバー名.....	6
4.1.2 認証.....	6
4.1.3 データベース名.....	6
4.1.4 ユーザー名.....	6
4.1.6 パスワード.....	6
4.1.7 接続テスト.....	6
4.1.7 OK.....	7
4.2 TDM メインフレーム.....	8
4.2.1 ファイル(F).....	8
4.2.2 表示(V).....	8
4.2.3 ユーザー(U).....	9
4.2.4 データベース(D).....	11
4.2.5 ウィンドウ(W).....	12
4.3 テーブル一覧表示エリア.....	14
4.3.1 テーブルデータ入力画面の表示.....	14
4.3.2 テーブル名変更.....	14
4.3.3 アクセス可能テーブルの選択.....	15
4.4 テーブルデータ入力画面.....	16
4.4.1 行の移動.....	16
4.4.2 レコード追加.....	17
4.4.3 レコード削除.....	17
4.4.4 レコード更新.....	17
4.4.5 フィルター.....	18
4.4.6 絞込み.....	21
4.4.7 項目設定.....	23
4.4.8 エクスポート.....	29
4.4.9 インポート.....	30
4.4.10 テーブルデータ一覧表示エリア.....	32
4.4.11 データ入力エリア.....	35
5.インストール方法.....	42
6.アンインストール方法.....	42

1.はじめに

データベース(SQLServer/MySQL)に接続するだけで、作成に時間のかかるテーブルデータのメンテナンス画面を自動で作成できます。

テーブルデータメンテナンス(以下 TDM と表記)はデータ表示・インポート・エクスポートなど、データベースへのアクセスの高速化を図っています。

ユーザー設定で管理者、ユーザーを登録することで使用できる機能を制限し、セキュリティの向上を図っています。

TDM は使用しながら入力コントロールのサイズや配置、表示・非表示等が簡単に変更できますので、操作する人のニーズに合わせて独自性、利便性のある入力画面が作成できます。

さらに入力作業の利便性を向上させるため、下記機能を組み込みました。

- ・簡単な設定でコード値選択コンボボックスを自動生成し、入力画面に表示します。
- ・画像ファイル・バイナリファイルをドラッグ & ドロップ、またはファイルから選択することでバイナリ型フィールドに入力可能にしました。

また、フィルター・絞り込み機能を使用することで任意のデータを一覧表示できます。

TDM をご使用頂くことで、作成時間、コスト等の削減に少しでも貢献でき、利便性に優れた支援ツールをご提供できれば幸いです。

2.動作環境

利用可能なデータベースは SQLServer2005、OS は WindowsXP で、.NET Framework 3.5 が必須です。

※MySQL 版には、[ADO.NET Driver for MySQL](#) (Connector/.NET)が、必須です

3.ライセンス

テーブルデータメンテナンスの著作権は Ability にあります。

転載は自由にして頂いて結構ですが、転載の際にメールにて転載のご報告を頂ければ幸いです。

雑誌等の媒体への掲載も喜んでお受け致しますが、その際はメールにて掲載の承諾を取って頂きます様お願い致します。

配布の際は、ダウンロードした状態(圧縮ファイル)のものを配布する事とします。

解凍又は、再梱包(再圧縮)したものを配布する事は認めません。

本ソフトの仕様は予告無く変更する場合があります。

本ソフトにより発生した障害にかかわる責任は、著作権者は一切負いません。

本ソフトにより発生した金銭の支払いにかかわる責任は、著作権者は一切負いません。

その他著作権者が不利になるような責任も一切負いません。

今後の開発の参考にさせて頂きたいと考えていますので、ご使用頂いたご感想、ご意見等をお寄せ頂けると幸いです。

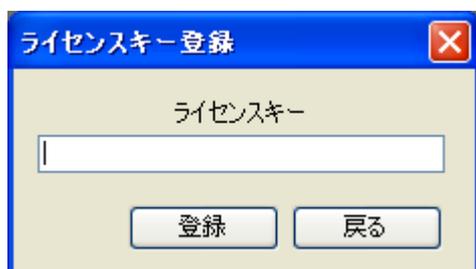
E-Mail: ability@an.wakwak.com

- フリー版をご使用いただいて、役に立ったと感じていただけたら、ご寄付をお願いいたします。 [こちら\(Vectorシェアレジ\)](#) をお願いいたします。

※商品版のみ

TDM の試用期間は30日です。それ以降も継続してご使用いただく場合、ライセンスを登録していただく必要があります。

TDM メインフレームのメニューの「ヘルプ」→「登録」を選択するとライセンスキー登録画面が表示されます。



取得したライセンスキーを入力し登録ボタンを押下してください。

4. 操作方法

4.1 初回起動時

初回、TDMforSqlSvr.exe を起動すると、データベース接続画面が表示されます。

※SQL Server 版

データベース接続

接続

データ接続のため、次の項目に情報を入力します。

DB接続 設定

サーバー名

認証 Windows 認証

データベース名

ユーザー名

パスワード

接続テスト

OK キャンセル

※ MySQL 版

データベース接続

接続

データ接続のため、次の項目に情報を入力します。

DB接続 設定

サーバー名 localhost

認証 Server 認証

データベース名 testdb|

ユーザー名 root

パスワード *****

接続テスト

OK キャンセル

4.1.1 サーバー名

サーバー名更新ボタンを押下すると、使用可能なサーバー名が表示されますので、使用するサーバーを選択してください。

※SqlServer2005 Express Edition をインストールされている場合は、サーバー名に「¥SQLEXPRESS」を追加してください。

4.1.2 認証 ※SQL Server 版のみ

Windows 認証、または、Server 認証が表示されますので、使用する認証を選択してください。

4.1.3 データベース名

使用するデータベース名を入力してください。

4.1.4 ユーザー名

Server 認証を選択時に必要です。（MySQL版はServer認証のみ）
接続用のユーザー名を設定してください。

4.1.6 パスワード

Server 認証を選択時に必要です。（MySQL版はServer認証のみ）
接続用のパスワードを設定してください。

4.1.7 接続テスト

データベース接続の可否をチェックします。

4.1.7 OK

接続に成功した場合、ログイン画面が表示されます。

初回起動時の User/PassWord は、administrator/administrator で、スーパー管理者モードとしてログインします。



User/PassWord は、ユーザー登録されるまで administrator/administrator がデフォルト表示されます。ユーザー登録されるとデフォルト表示されなくなりますのでセキュリティ向上のため、ユーザー登録されることをお勧めします。

4.2 TDM メインフレーム

TDM を起動すると、設定(4.1 初回起動時 参照)されている SQL Server のデータベースからテーブル情報を取得し、テーブル一覧表示エリアにテーブル名を表示します。

また、ログイン時のユーザー情報(4.2.3 ユーザー 参照)をもとに、テーブルのアクセス可否や、操作可否を判断し、アクセス・操作制限を実施します。

TDM メインフレームのメニューの各項目について説明します。

・管理者モードでログイン時



・ユーザーモードでログイン時



4.2.1 ファイル(F)

2.2.1.1 終了(X)

TDM を終了します。

4.2.2 表示(V)

4.2.2.1 テーブル一覧(T)

「テーブル一覧」のチェックを ON/OFF することで、テーブル一覧表示エリアの表示/非表示を切り替えます。

4.2.2.2 テーブル一覧の更新(F)

接続中の SQL Server のテーブル情報を再読込し、最新のテーブル一覧を表示します。

※管理者モードでログイン時のみ操作可能です。

4.2.3 ユーザー(U) ※商品版のみ

ユーザー管理(U)を選択すると、ユーザー登録画面を表示します。

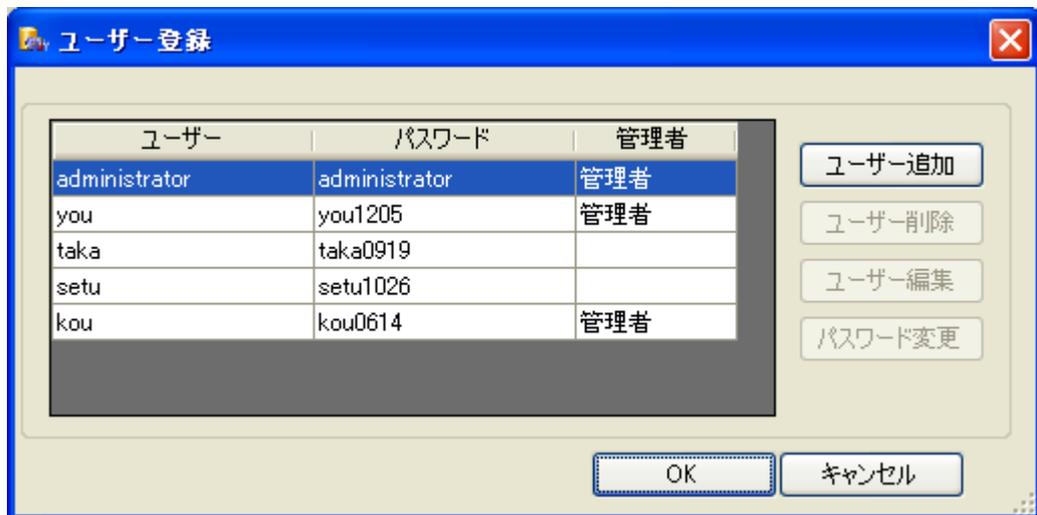
初回起動時は、ユーザー= administrator、パスワード= administrator で、スーパー管理者モードとしてログインしますので、セキュリティ向上のため、適宜設定されることをお勧めします。登録したユーザー情報は次回起動時より有効となります。

ユーザー情報変更時は一旦 TDM を終了し、再起動させてください。

4.2.3.1 ユーザー登録

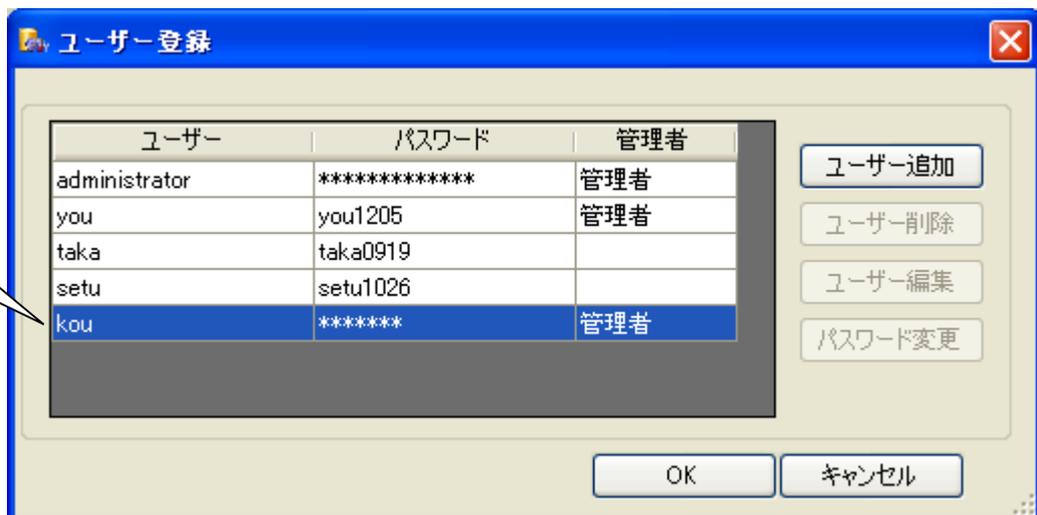
ユーザー一覧を表示します。

スーパー管理者モード(ユーザー = administrator、パスワード = administrator)でログイン時は、他のすべてのユーザー情報が編集可能ですが、スーパー管理者モード自身を削除、編集することはできません。



管理者モードでログイン時は、自身と他の管理者以外のユーザー情報が編集可能です。他の管理者のユーザー情報は編集できません。

管理者 you でログインした場合、管理者 kou の情報は編集不可。



OK ボタンを押下すると、編集したユーザー情報を保存します。

4.2.3.2 ユーザー追加

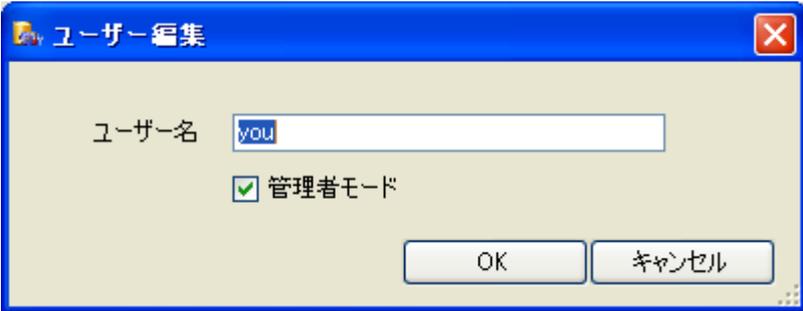


追加するユーザー名、パスワード、管理者モードを入力します。
パスワードは未設定でもユーザー登録は可能ですが、セキュリティ向上のため設定されることをお勧めします。

4.2.3.3 ユーザー削除

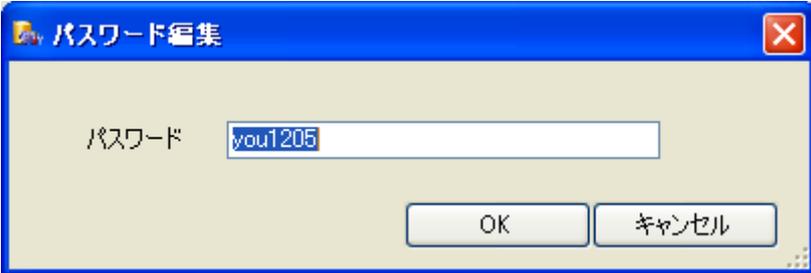
選択行のユーザー情報を削除します。

4.2.3.4 ユーザー編集



ユーザー名を入力します。

4.2.3.5 パスワード変更



パスワードを入力します。

4.2.4 データベース (D)

管理者モードでログイン時のみ操作可能です。

4.2.4.1 DB 接続

データベース接続

接続

データ接続のため、次の項目に情報を入力します。

DB接続 設定

サーバー名 ▼

認証 Windows 認証 ▼

データベース名

ユーザー名

パスワード

詳細は 4.1 初回起動時を参照。

4.2.4.2 トランザクション・開始

トランザクションを開始します。

4.2.4.3 トランザクション・コミット

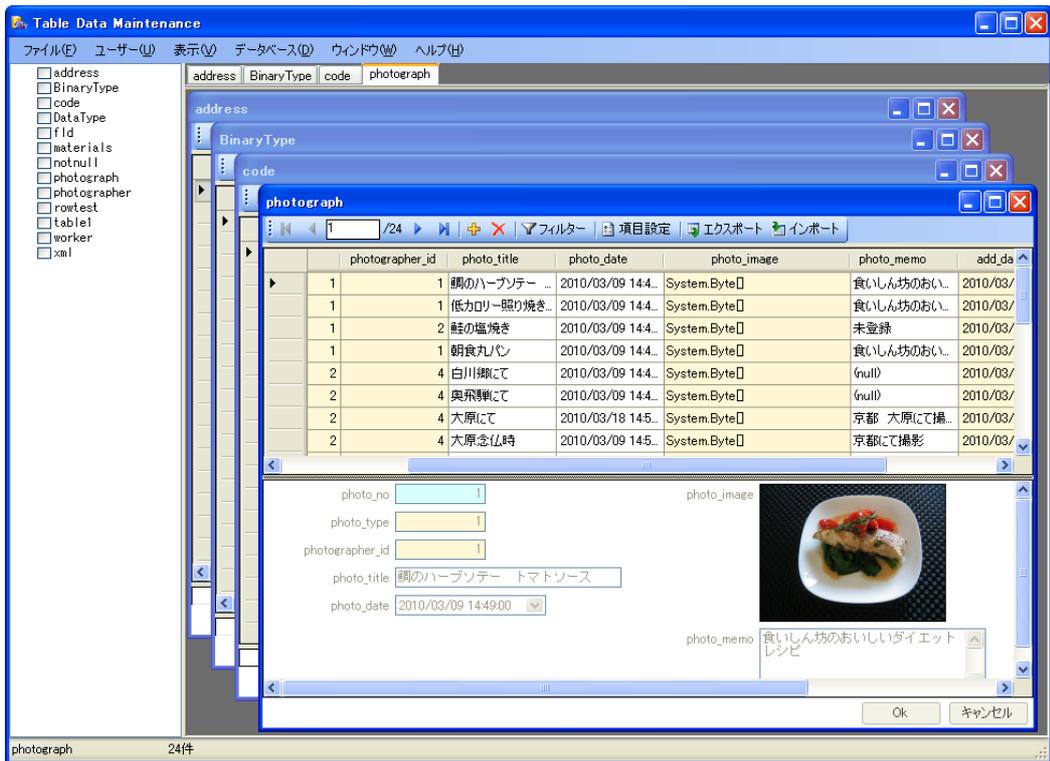
トランザクション開始以降のデータの変更、追加、削除等をデータベースに反映します。

4.2.4.4 トランザクション・ロールバック

トランザクション開始以降のデータの変更、追加、削除等をロールバックし、トランザクション開始時点のデータに戻します。

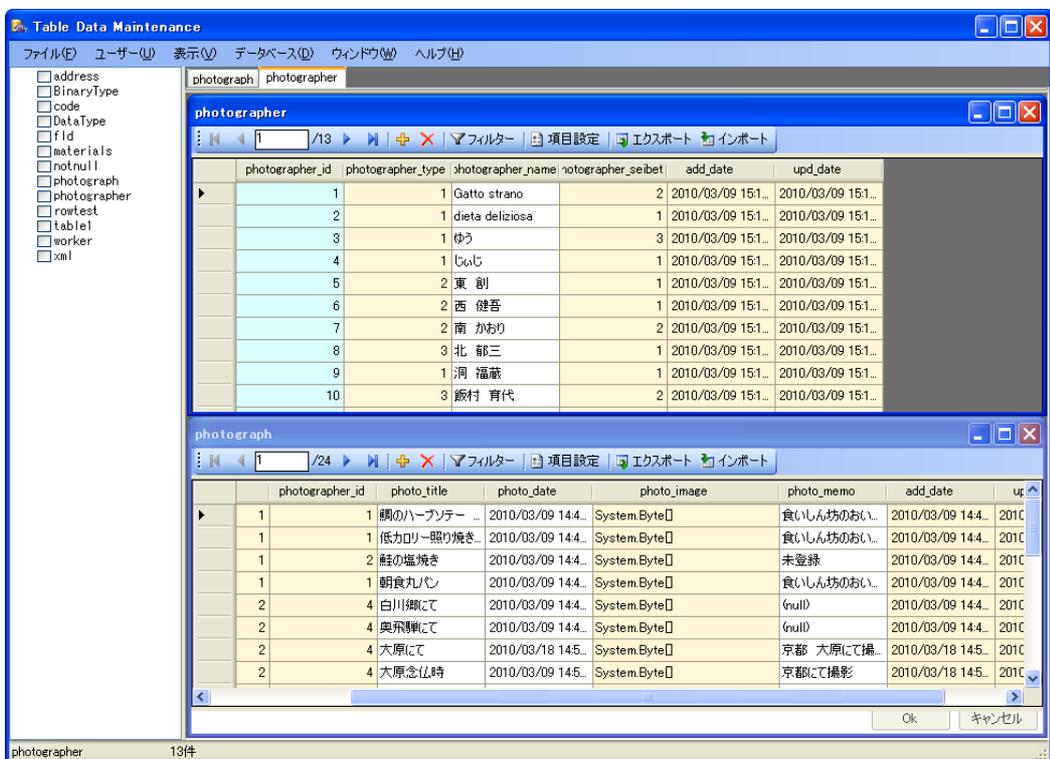
4.2.5 ウィンドウ(W)

4.2.5.1 重ねて表示(C)



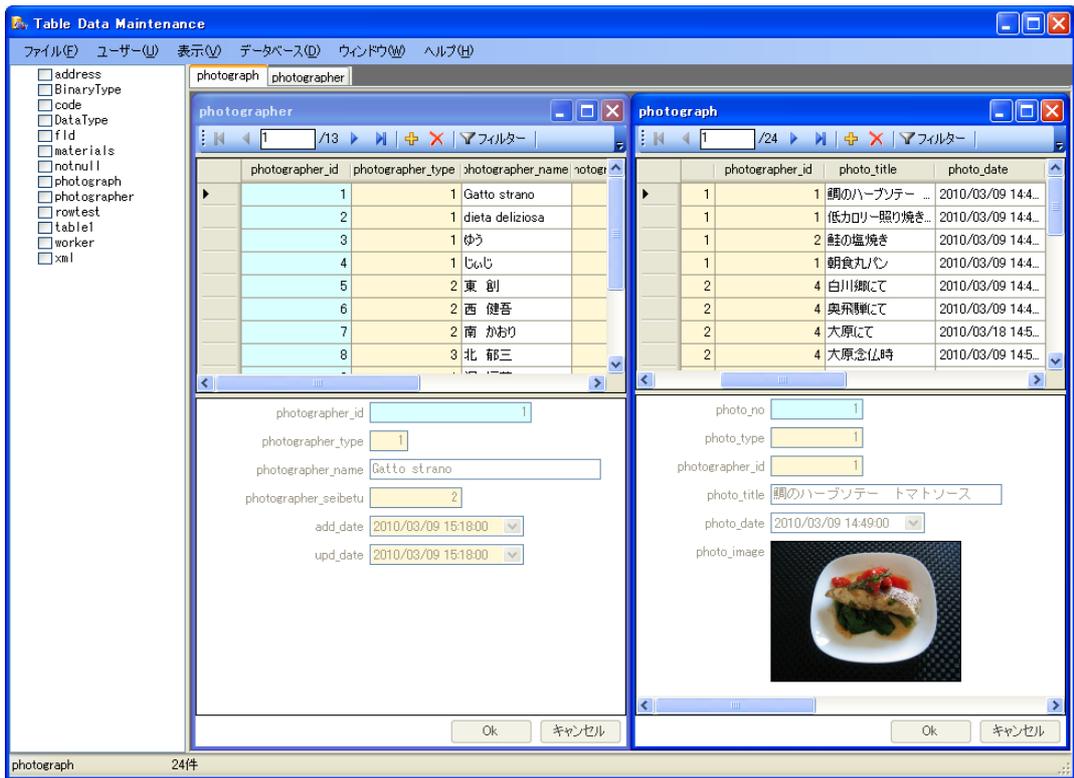
各テーブルデータ入力画面を重ねて表示します。

4.2.5.2 上下に並べて表示(V)



各テーブルデータ入力画面を上下に並べて表示します。

4.2.5.3 左右に並べて表示(H)



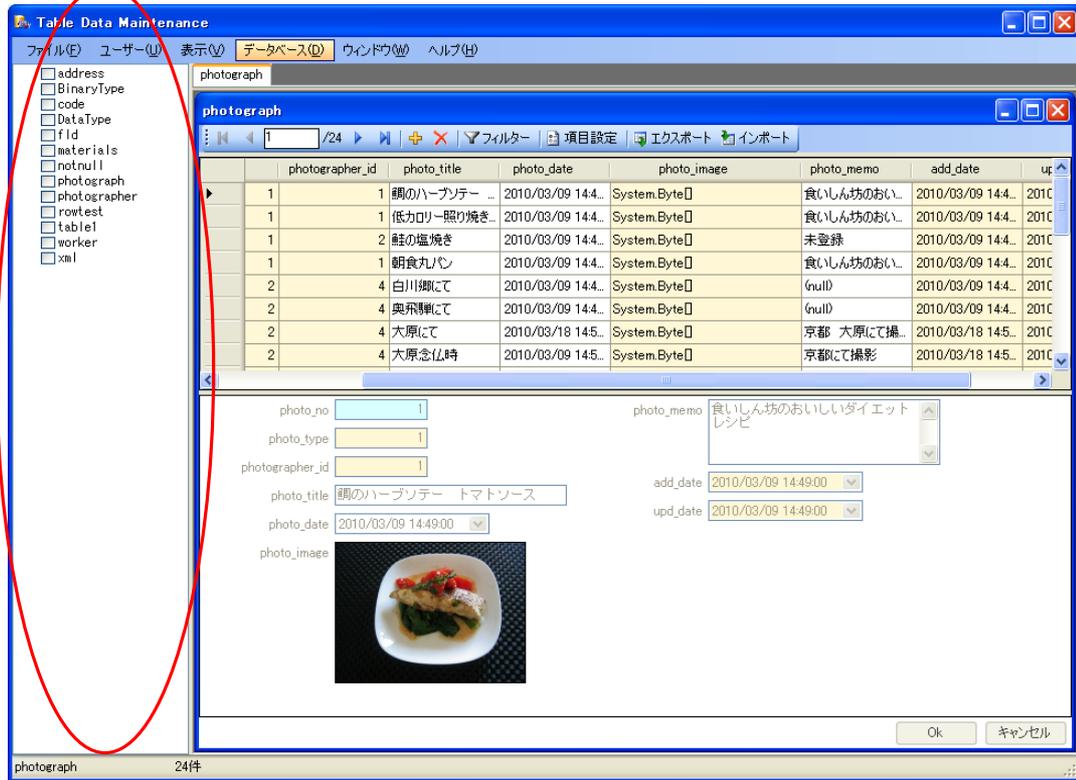
各テーブルデータ入力画面を左右に並べて表示します。

4.2.5.4 すべて閉じる

各テーブルデータ入力画面をすべて閉じます。

4.3 テーブル一覧表示エリア

4.3.1 テーブルデータ入力画面の表示



テーブル一覧表示エリアでマウス左ボタンをダブルクリックすると、テーブルデータ入力画面が表示されます。

4.3.2 テーブル名変更

管理者モードでログイン時、テーブル一覧表示エリアでマウス右ボタンをクリックすると、「テーブル名変更」のメニューが表示されます。

対象となるテーブルのテーブルデータ入力画面が表示されている場合、

「テーブル名変更」のメニューは操作できません。



「テーブル名変更」を選択すると、テーブル名の編集が可能となります。

ここで変更されたテーブル名は DTM でのみ有効です。SQLServer のテーブル名は変更されません。

4.3.3 アクセス可能テーブルの選択

管理者モードでログイン時、テーブル一覧表示エリアのチェックボックスを ON/OFF することで、管理者以外のユーザーがアクセスできるテーブルを制限します。

管理者がアクセス可能テーブルを設定



ユーザーでログイン



4.4 テーブルデータ入力画面

TDM では、テーブル一覧表示エリアで選択したテーブルの入力画面を自動生成し TDM メインフレームに表示します。

また、ログイン時のユーザー情報(4.2.3 ユーザー 参照)をもとに、操作可否を判断し、操作制限を実施します。

テーブルデータ入力画面のメニューの各項目について説明します。

・管理者モードでログイン時のメニュー



・管理者モード以外でログイン時のメニュー



4.4.1 行の移動

4.4.1.1 最初に移動

を押下すると、レコード行の最初に移動します。

4.4.1.2 1行前に移動

を押下すると、レコード行の1行前に移動します。

4.4.1.3 1行次に移動

を押下すると、レコード行の1行次に移動します。

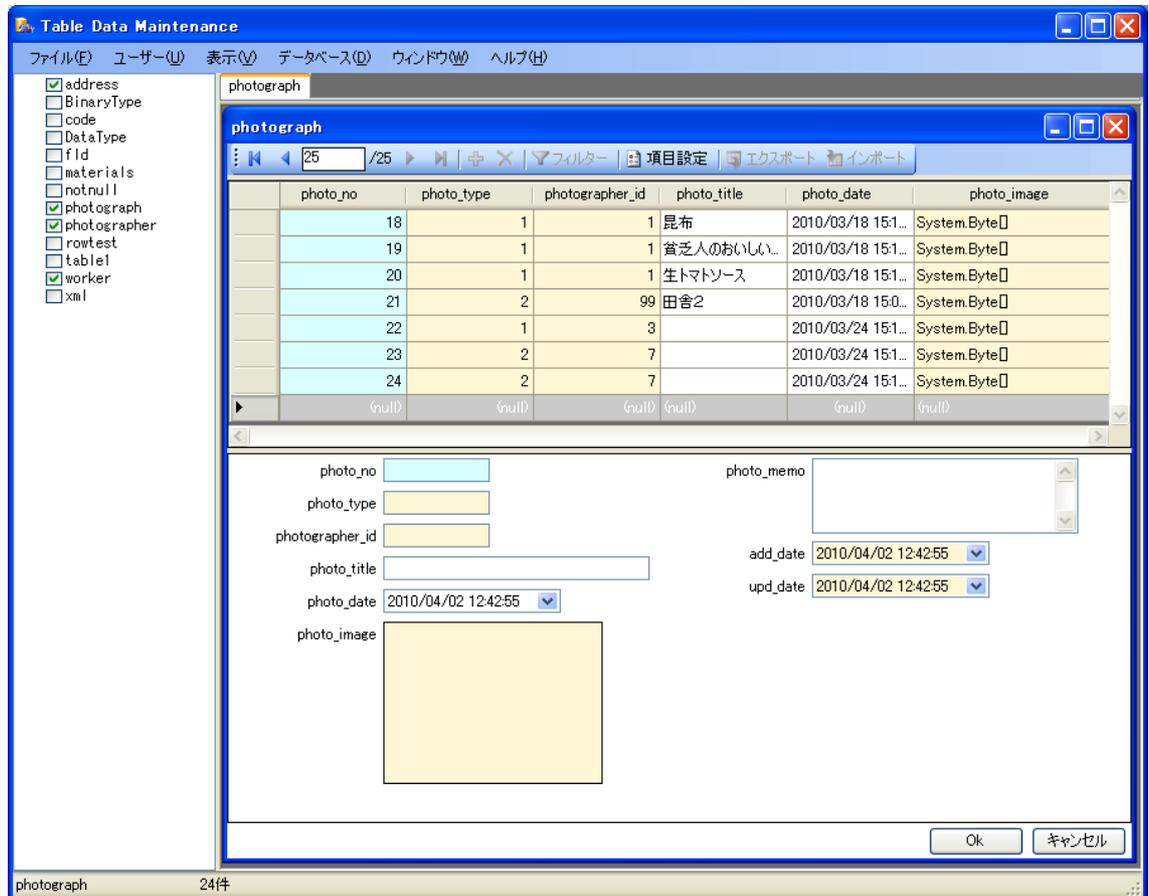
4.4.1.4 最後に移動

を押下すると、レコード行の最後に移動します。

4.4.2 レコード追加

 を押下すると、画面上部の表の最終行に1行追加され、画面下部の入力エリアが編集可能になります。

「OK」ボタンを押下すると入力エリアで入力した内容がデータベースに追加されます。



トランザクション開始中はトランザクションコミット時にデータベースに反映されます。
編集中は「削除」、「項目設定」以外のメニューと、画面上部の表は操作不可となります。
「OK」または、「Cancel」ボタンを押下すると編集状態が解除されます。

※トランザクション機能は商品版のみ フリー版の場合プラグインで対応

4.4.3 レコード削除

画面上部の表の行を選択し、 を押下すると表で選択されたデータが削除されます。
複数行選択可能です。

トランザクション開始中はトランザクションコミット時にデータベースに反映されます。

4.4.4 レコード更新

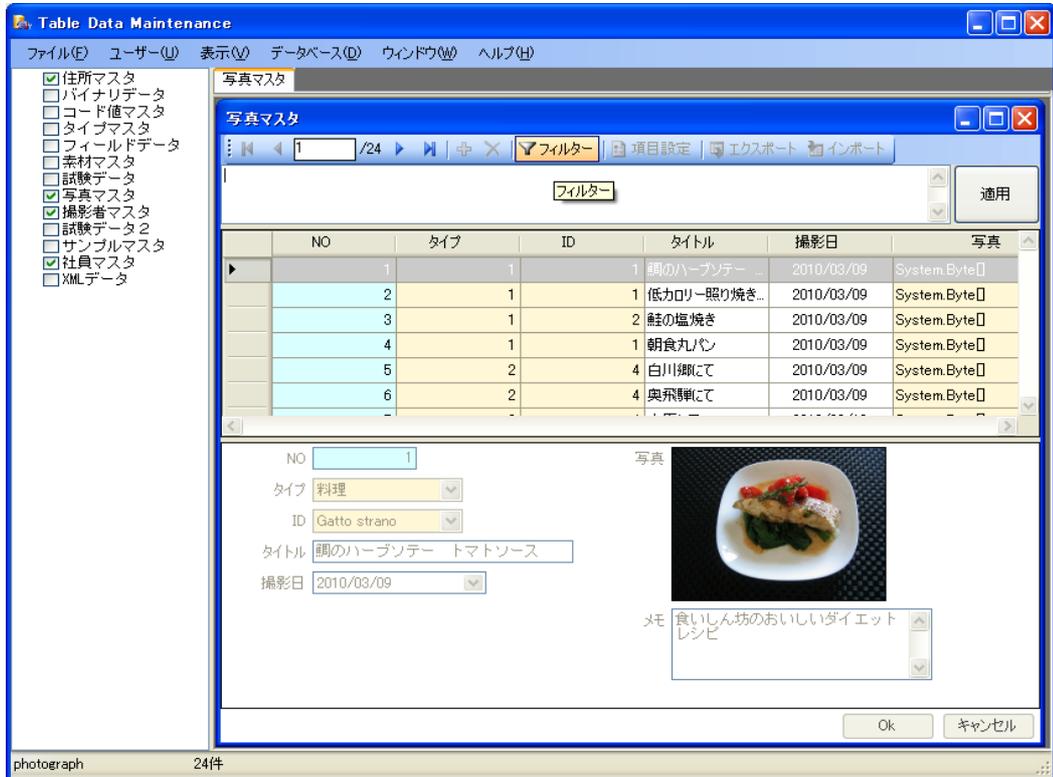
画面上部の表の行を選択し、マウス左ボタンをダブルクリックすると画面下部の入力エリアが編集可能になります。

編集中は「削除」、「項目設定」以外のメニューと、画面上部の表は操作不可となります。

「OK」ボタンを押下すると入力エリアで編集した内容がデータベースに更新されます。
トランザクション開始中はトランザクションコミット時にデータベースに反映されます。

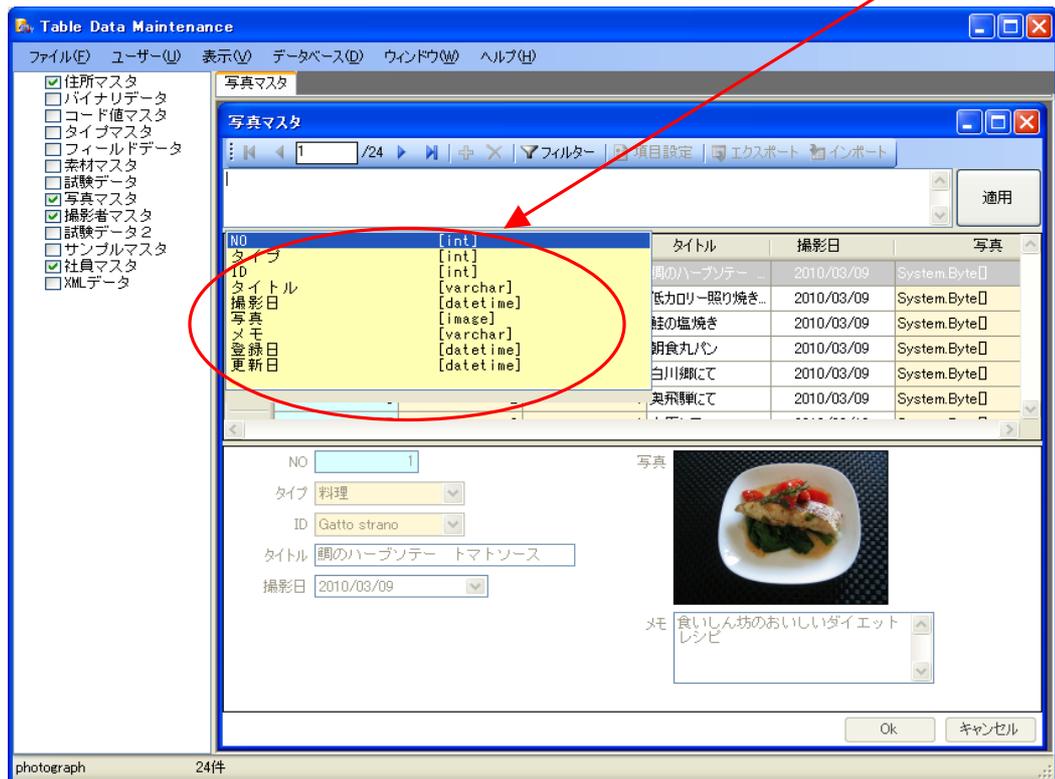
4.4.5 フィルター

 フィルターを押下すると、絞り込み条件入力エリアが表示されます。



絞り込み条件入力エリアにカーソルがある状態で「F1」キーを押下するとフィールド名選択画面が表示されます。

項目名とデータ型を表示



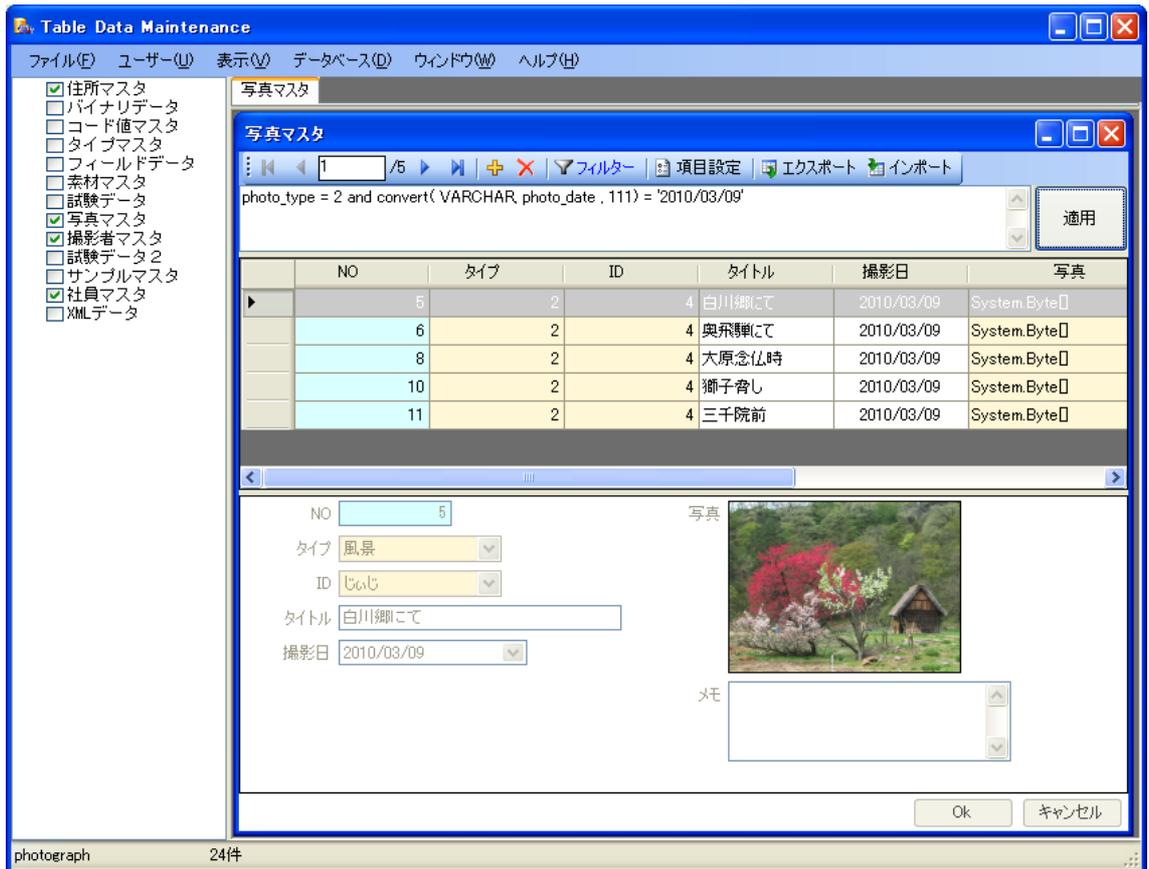
「↑」「↓」キーでフィールド名を選択し「Enter」キーを押下する、または、マウスでフィールド名をクリックすると絞り込み条件入力エリアに入力されます。

「Esc」キーを押下するとフィールド名選択画面は終了します。

絞り込み条件入力エリア表示中は「フィルター」と、絞り込み条件入力エリア、フィールド名選択画面以外は操作不可となります。

絞り込み条件入力エリアには、クエリーの WHERE 句以降を入力します。

「適用」を押下すると条件に合致するレコードのみを表示します。



絞り込み条件が設定されている場合、「フィルター」の文字が青色で表示されます。

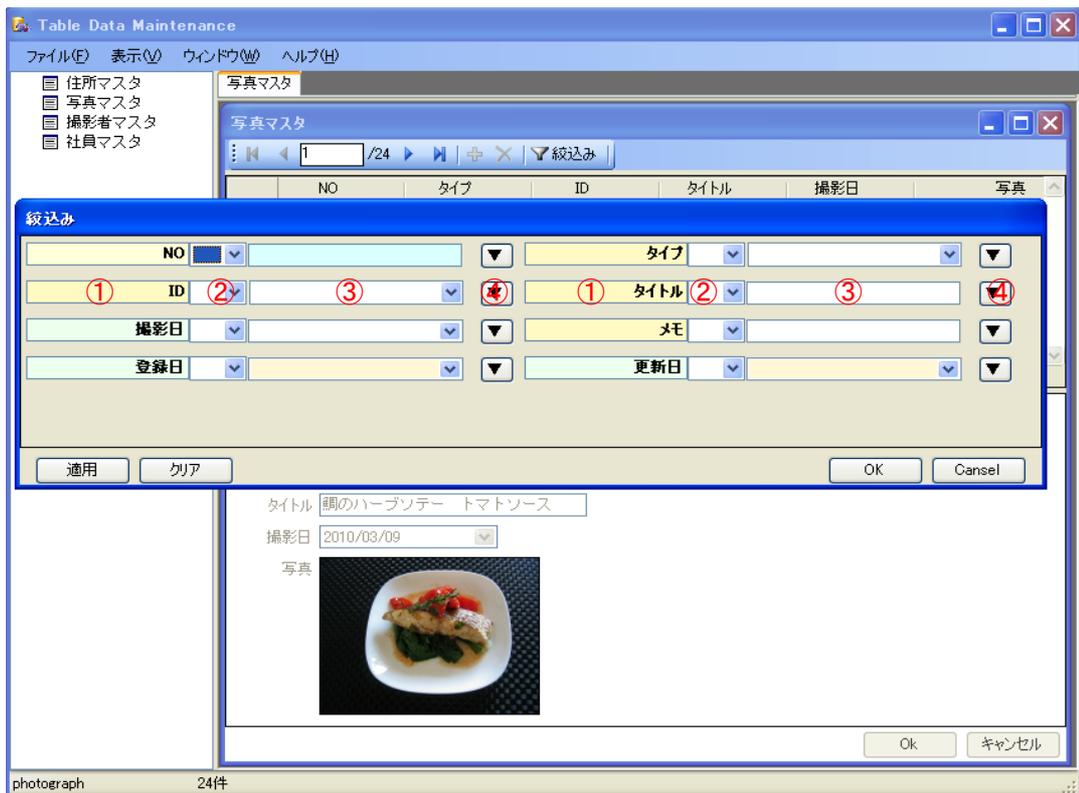
絞り込み条件入力エリアの条件文を削除し「適用」を押下すると、フィルター設定が解除され、全レコードが表示されます。

※ MySQL 版のフィルターの場合、項目名を [`] で囲ってください。

・例: `項目名1` > 1 and `項目名2` = 'No5'

4.4.6 絞込み ※商品版のみ

 絞込みを押下すると、絞込み条件入力画面が表示されます。



4.4.6.1 絞込条件設定エリア

①項目名

項目名を表示します。

②絞り込み条件選択コンボボックス

データタイプに応じて選択コンボボックスに絞り込み条件を表示します。

データタイプ	絞り込み条件
数値	=、<、>、>=、<、<=
テキスト	=、Like
日付	=、<、>、>=、<、<=

③値入力コントロール

データ入力エリアに表示されている入力コントロールを表示します。

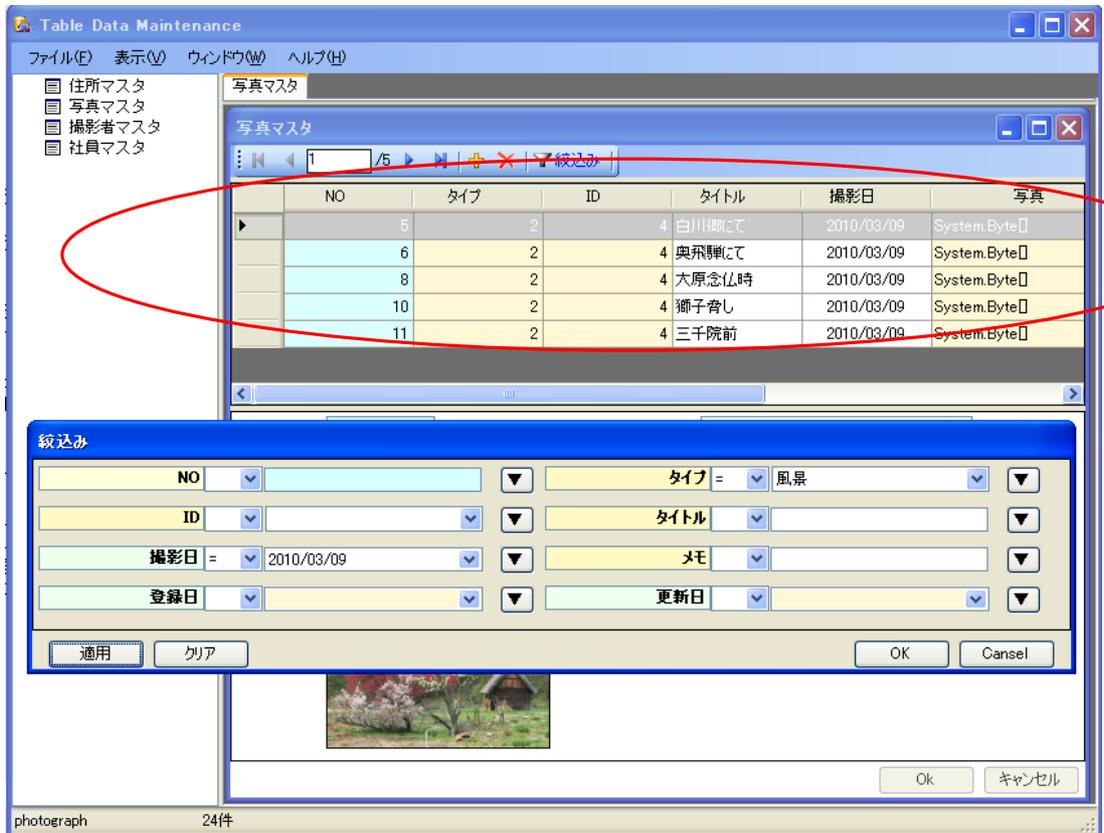
④条件追加

 を押下すると条件追加エリアを表示します。



4.4.6.2 適用

適用ボタンを押下すると、設定した条件で絞り込んだ結果をテーブルデータ一覧に表示します。



4.4.6.3 クリア

クリアボタンを押下すると、設定した条件を消去します。

4.4.6.4 Cancel

Cancelボタンを押下すると、設定した条件をキャンセルします。

4.4.6.5 OK

OKボタンを押下すると、設定した条件で絞り込んだ結果をテーブルデータ一覧に表示し、絞り込み条件入力画面を終了します。

4.4.7 項目設定

 項目設定を押下すると、項目設定画面が表示されます。

管理者モードでログイン時のみ設定可能です。

4.4.7.1 表示

必須入力でない項目に表示/非表示設定チェックボックスが表示されます。

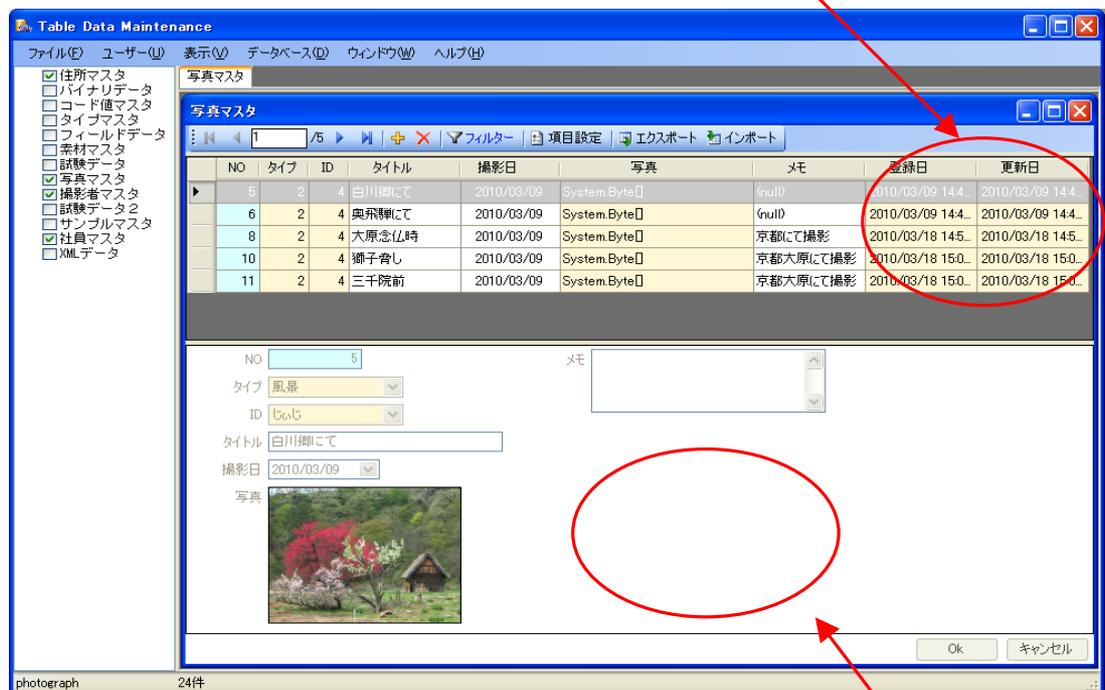
表示/非表示設定チェックボックスを ON/OFF することで、テーブルデータ入力画面の入力エリアに入力コントロールを表示する・表示しないを設定します。

表示/非表示設定チェックボックスを OFF に設定しても、画面上部の表の列には表示されます。



OFF に設定

表には表示される



入力エリアには表示されない

4.4.7.2 論理名

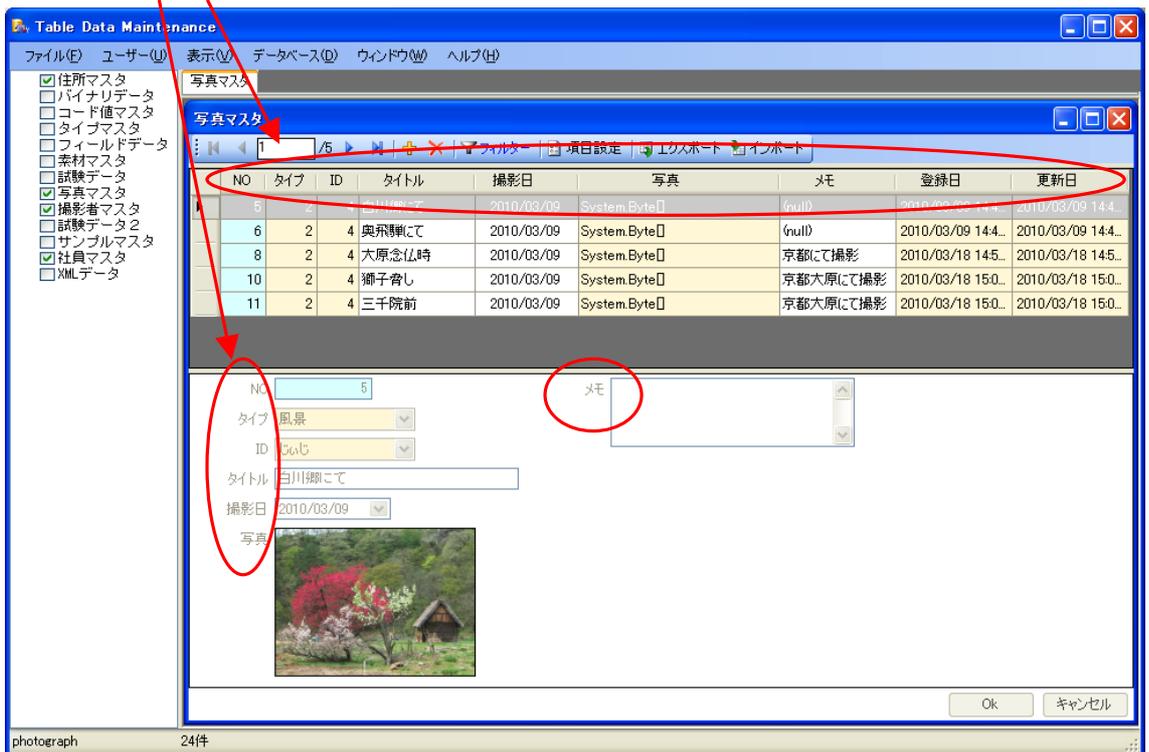
TDM 用に論理名を設定します。

ここで変更された項目名は TDM でのみ有効です。SQL Server のフィールド名は変更されません。

論理名を設定



論理名が表示される



4.4.7.3 物理名

SQL Server のフィールド名を表示します。物理名は編集できません。

4.4.7.4 データ型

SQL Server のフィールドのデータ型を表示します。データ型は編集できません。

4.4.7.5 必須

SQL Server のフィールドの NULL 許容可否を表示します。NULL 許容可否は編集できません。

4.4.7.6 数値項目設定 ※商品版のみ

テーブルデータ入力画面の入力エリアに表示する数値型入力コントロールを設定します。

・入力可能数値範囲設定

入力可能な数値の範囲を最大値と最小値をカンマで区切って設定します。

[書式] 最小値 , 最大値

0,10 と入力することで、
0～10 まで入力可能に設定

表示	論理名	物理名	データ型	必須	数値項目設定	テキスト項目設定	日付項目設定
	写真No	photo_no	int	Pkey			
	写真タイプ	photo_type	int	Yes	0,10		
	撮影者ID	photographer_id	int	Yes			
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_title	varchar(30)			なし	
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_date	datetime				日時
		photo_image	image	Yes			
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_memo	varchar(200)			なし	
<input type="checkbox"/>		add_date	datetime/ge...	Yes			日時
<input type="checkbox"/>		upd_date	datetime/ge...	Yes			日時

設定した範囲外の数値は入力できない

写真No

写真タイプ !

撮影者ID

photo_title

photo_date

photo_image

photo_memo

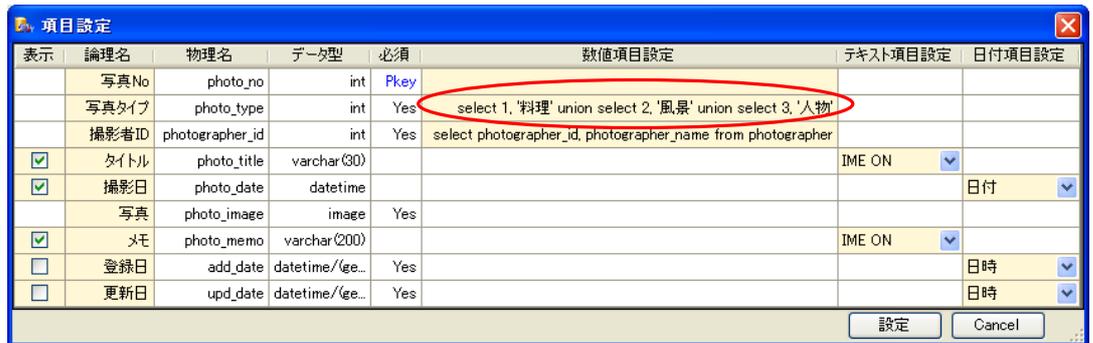
・選択コンボボックス設定 ※商品版のみ

テーブルデータ入力画面の入力エリアに表示する数値型入力コントロールに簡単なクエリーを設定することで、選択コンボボックスを表示するように設定します。

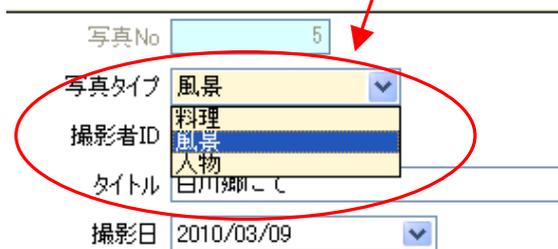
①任意の文字列と数値を設定

[書式] select 任意の数値 , '任意の文字列' union ...

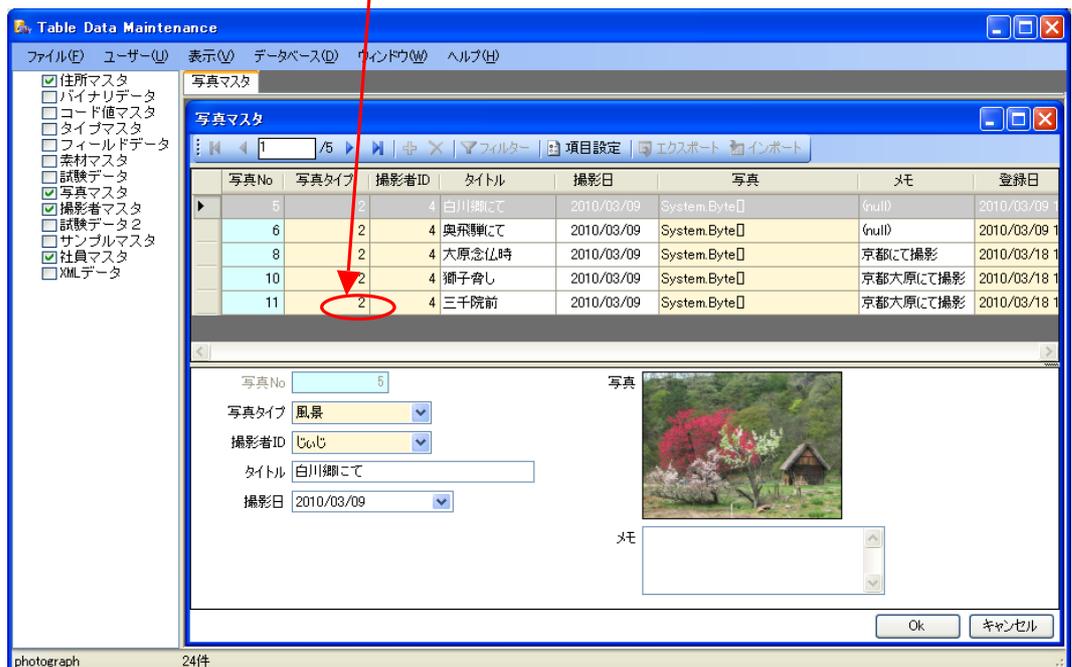
[例] select 1, '料理' union select 2, '風景' union select 3, '人物'



クエリーで設定した選択コンボボックスを表示



クエリーで設定した任意の数値が入力される



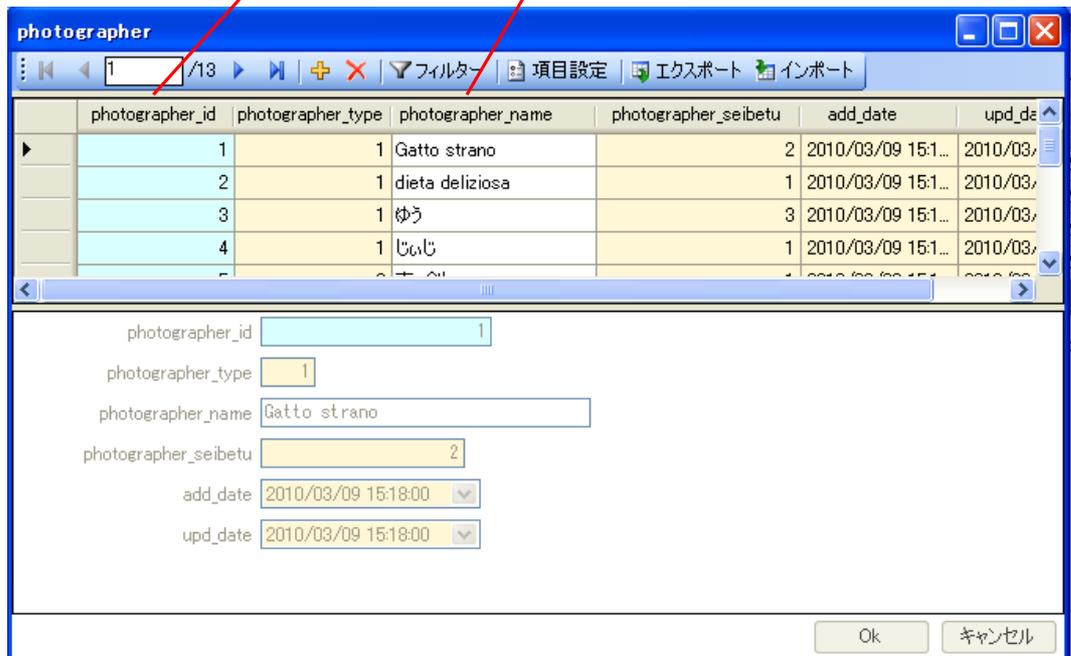
②他のテーブルを設定 ※商品版のみ

[書式] select 列名 , 列名 from テーブル名

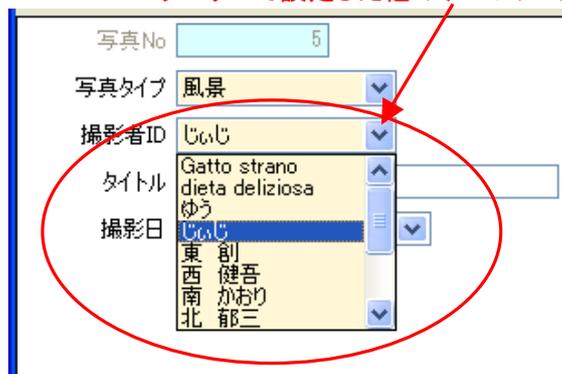
[例] select photographer_id, photographer_name from photographer



photographer テーブルの photographer_id と photographer_name を設定



クエリーで設定した他のテーブルのデータを表示



4.4.7.7 テキスト項目設定 ※商品版のみ

テーブルデータ入力画面の入力エリアに表示するテキスト型入力コントロールを設定します。

「なし」「IME ON」「全角のみ」「全角ひらがなのみ」「全角カタカナのみ」「半角カタカナのみ」が設定できます。

The screenshot shows the 'Item Settings' dialog box with a table of fields and their configurations. The 'Text Item Settings' column is open, showing a dropdown menu with options: なし, IME ON, 全角のみ, 全角ひらがなのみ, 全角カタカナのみ, and 半角カタカナのみ.

表示	論理名	物理名	データ型	必須	数値項目設定	テキスト項目設定	日付項目設定
		photo_no	int	Pkey			
		photo_type	int	Yes			
		photographer_id	int	Yes			
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_title	varchar(30)			なし	
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_date	datetime			なし	日時
		photo_image	image	Yes			
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_memo	varchar(200)				
<input checked="" type="checkbox"/>		add_date	datetime/(ge...	Yes			日時
<input checked="" type="checkbox"/>		upd_date	datetime/(ge...	Yes			日時

4.4.7.8 日付項目設定 ※商品版のみ

テーブルデータ入力画面の入力エリアに表示する日付型入力コントロールを設定します。

「日時」「日付」「時間」が設定できます。

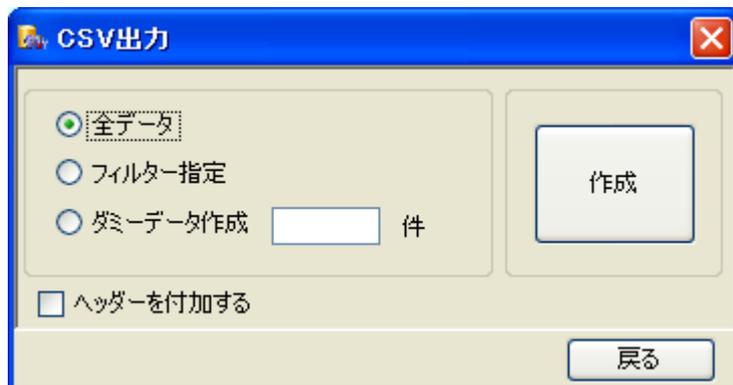
The screenshot shows the 'Item Settings' dialog box with a table of fields and their configurations. The 'Date Item Settings' column is open, showing a dropdown menu with options: 日時, 日付, and 時間.

表示	論理名	物理名	データ型	必須	数値項目設定	テキスト項目設定	日付項目設定
		photo_no	int	Pkey			
		photo_type	int	Yes			
		photographer_id	int	Yes			
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_title	varchar(30)			なし	
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_date	datetime				日時
		photo_image	image	Yes			日時
<input checked="" type="checkbox"/>		photo_memo	varchar(200)			なし	日付
<input checked="" type="checkbox"/>		add_date	datetime/(ge...	Yes			時間
<input checked="" type="checkbox"/>		upd_date	datetime/(ge...	Yes			日時

4.4.8 エクスポート ※商品版のみ フリー版の場合プラグインで対応

 エクスポートを押下すると、エクスポート画面が表示されます。

管理者モードでログイン時のみ使用可能です。



「作成」ボタンを押下すると「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

「名前を付けて保存」ダイアログで出力するファイルの種類を選択します。

Csv ファイル形式、または Tab ファイル形式が選択可能です。

出力するデータにカンマが含まれる場合、Csv ファイル形式では正しくデータがエクスポート、インポートできません。Tab ファイル形式でエクスポートしてください。

4.4.8.1 全データ

SQL Server のテーブルに登録されている全データを出力します。

4.4.8.2 フィルター指定

フィルターで設定されている絞り込み条件に合致するデータを出力します。

4.4.8.3 ダミーデータ作成

入力された件数分のダミーデータを最大 99,999 件出力します。

ダミーデータのファイルを編集し、インポートすることでテストデータ等の作成が容易になります。

4.4.8.4 ヘッダーを付加する。

「ヘッダーを付加する」のチェックボックスを ON すると項目名をヘッダーとして出力します。

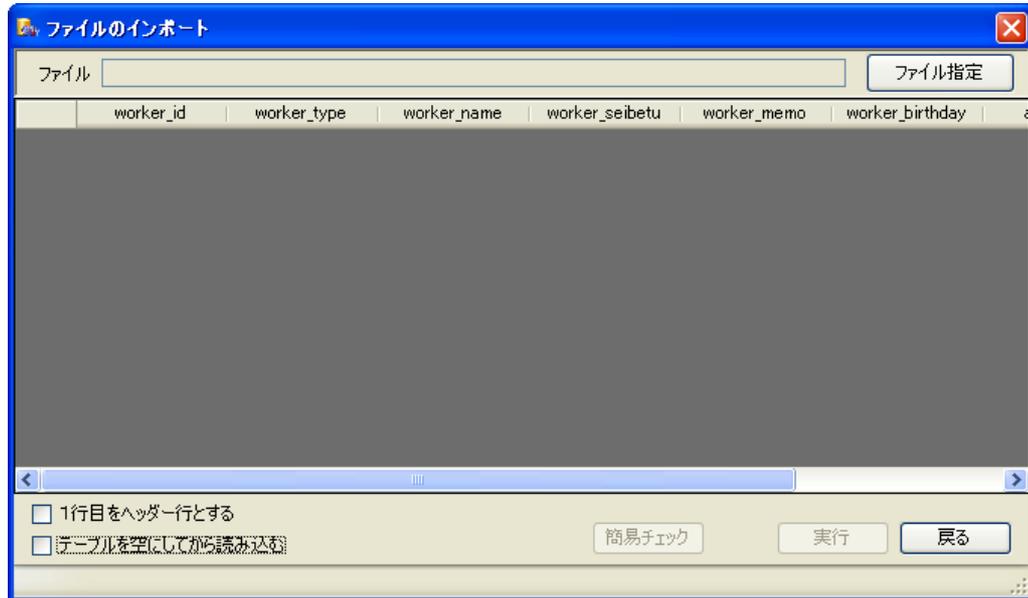
「ヘッダーを付加する」を選択するとエクスポートの処理速度が遅くなります。

大量データをエクスポートする場合は「ヘッダーを付加する」を選択しないで実行してください。

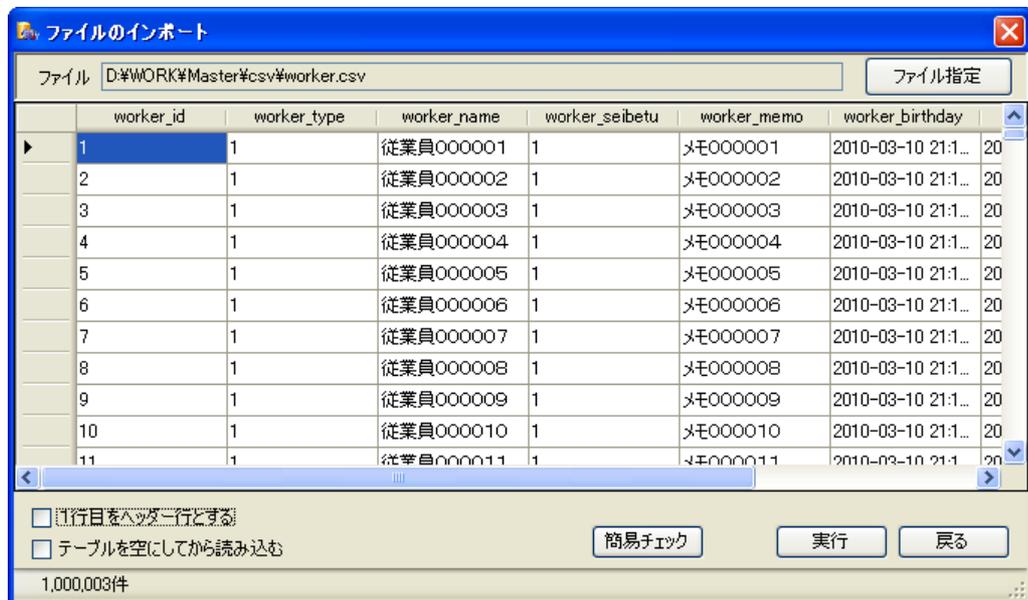
4.4.9 インポート ※商品版のみ フリー版の場合プラグインで対応

 インポートを押下すると、インポート画面が表示されます。

管理者モードでログイン時のみ使用可能です。



「ファイル指定」ボタンを押下すると「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、インポートしたいファイルを指定します。Csv ファイル形式、または Tab ファイル形式が選択可能です。ファイルを指定するとファイルの内容が最大 1000 件表示されます。(表示は最大 1000 件ですが、インポートするデータ数に制限はありません。)



4.4.9.1 1 行目をヘッダ行とする

表示されたファイルの1行目がヘッダ行の場合、「1行目をヘッダ行とする」のチェックボックスを ON します。

4.4.9.2 テーブルを空にしてから読み込む

テーブルのデータをすべて削除してからインポートする場合、「テーブルを空にしてから読み込む」のチェックボックスを ON します。

4.4.9.3 簡易チェック

読み込んだファイルの各項目がテーブルにインポート可能か簡単なチェックを実施し、インポートできない項目があれば赤色で表示します。テーブルにインポート可能でも、マスタメンテの項目設定で範囲外に設定されている場合、黄色で表示します。

あくまでも簡易チェックですので、チェック OK でもインポートに失敗する場合があります。

データベース登録不可の場合、赤色で表示

	row1	row2	row3	row4	row5	row6	row7	row8
1	1	1	1	1	1	16000	16000	16000
2	2	2	2	2	2	16000	16000	16000
3	3	3	3	3	1	16000	16000	16000
4	4	4	4	4	0	16000	16000	16000
5	5	5	5	5	1	16000	16000	16000
6	6	6	6	6	0	16000	16000	16000
7	7	7	7	7	1	16000	16000	16000
8	8	8	8	8	0	16000	16000	16000
9	9	9	9	9	1	16000	16000	16000
10	10	10	10	10	0	16000	16000	16000
11	11	11	11	11	1	16000	16000	16000

1行目をヘッダ一行とする
 テーブルを空にしてから読み込む

簡易チェック 実行 戻る

マスタメンテで数値入力範囲を 0~10 に設定している場合、黄色で表示

インポートするデータファイルを作成する場合、日付型の項目は YYYY/MM/DD HH:MM:SS 形式、または、YYYY-MM-DD HH:MM:SS 形式で作成してください。

テキスト型、XML 型など、データにカンマが含まれる場合、Csv ファイル形式では正しくインポートできません。Tab ファイル形式でデータファイルを作成してください。

4.4.9.3 実行

「実行」ボタンを押下するとテーブルにデータをインポートします。

インポートを実行すると取り消しできません。

また、テーブルを空にしてから読み込む場合、インポートに失敗してもテーブルのデータは消去されません。

危険回避のためインポートするテーブルのデータをバックアップ後、実行されることをお勧めします。

4.4.10 テーブルデータ一覧表示エリア

テーブルデータ入力画面上部のテーブルデータ一覧表示エリアに SQL Server に登録されているデータの一覧を表示します。

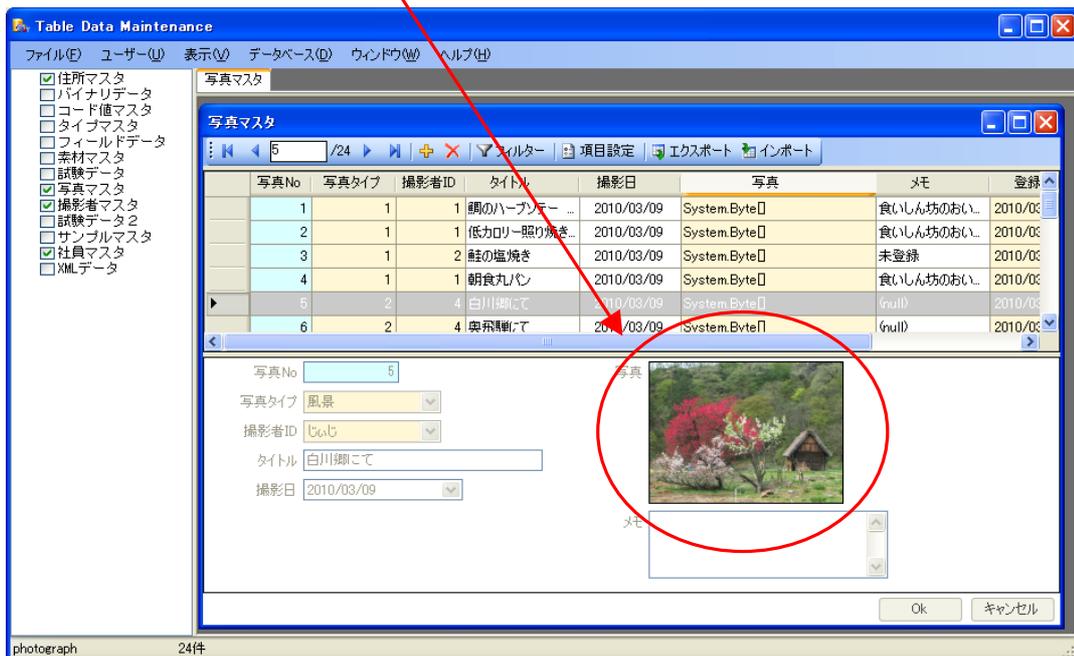
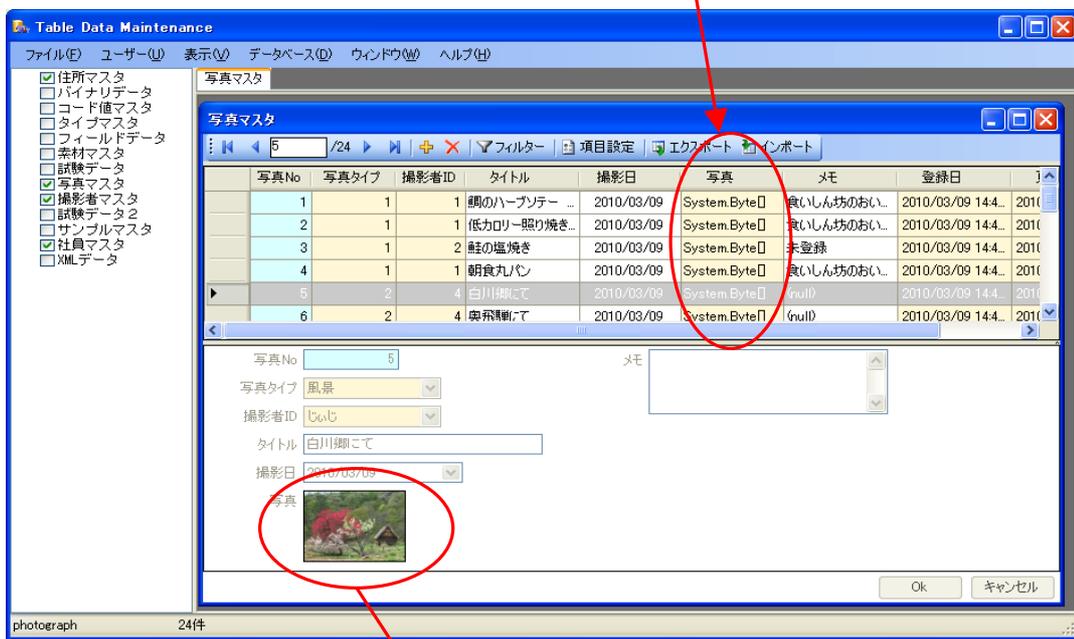
4.4.10.1 ソート

一覧表の数値型項目の列ヘッダーでマウス左ボタンをダブルクリックするとデータをソートします。

4.4.10.2 列・入力コントロール幅の変更

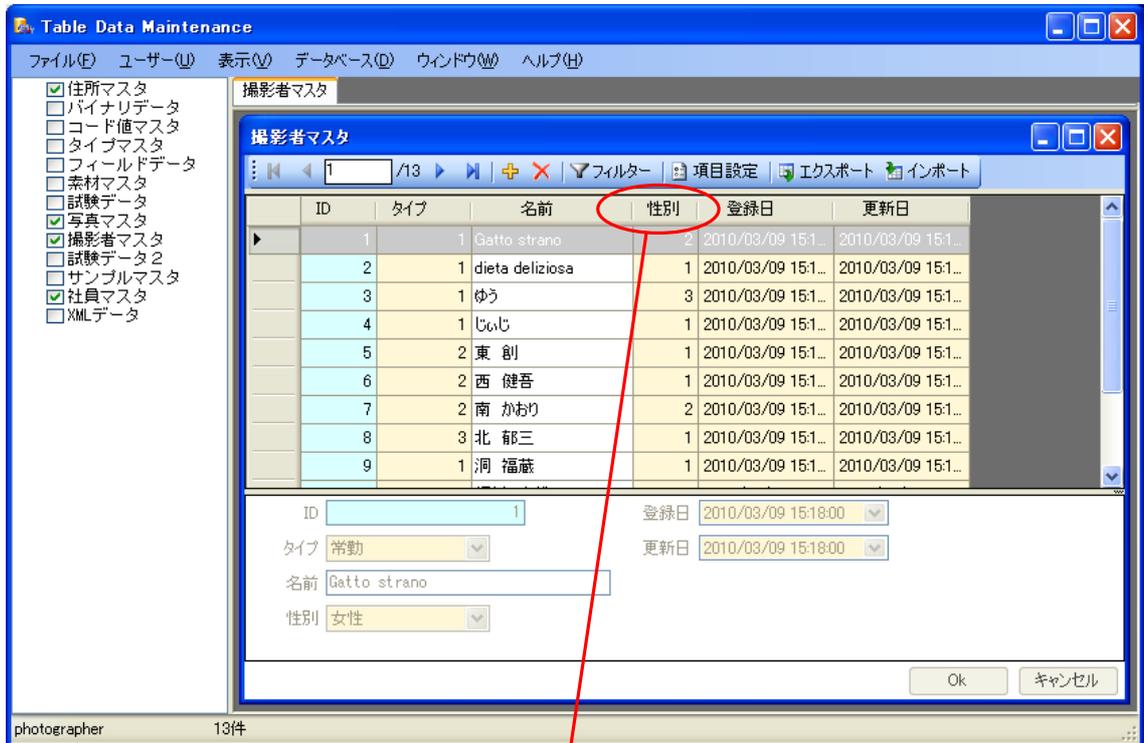
一覧表の列幅は伸縮可能です。列幅を変更すると変更した列幅に従いテーブルデータ入力画面下部のデータ入力エリアの入力コントロールの幅も自動的に変更されます。

写真の列幅を広げる

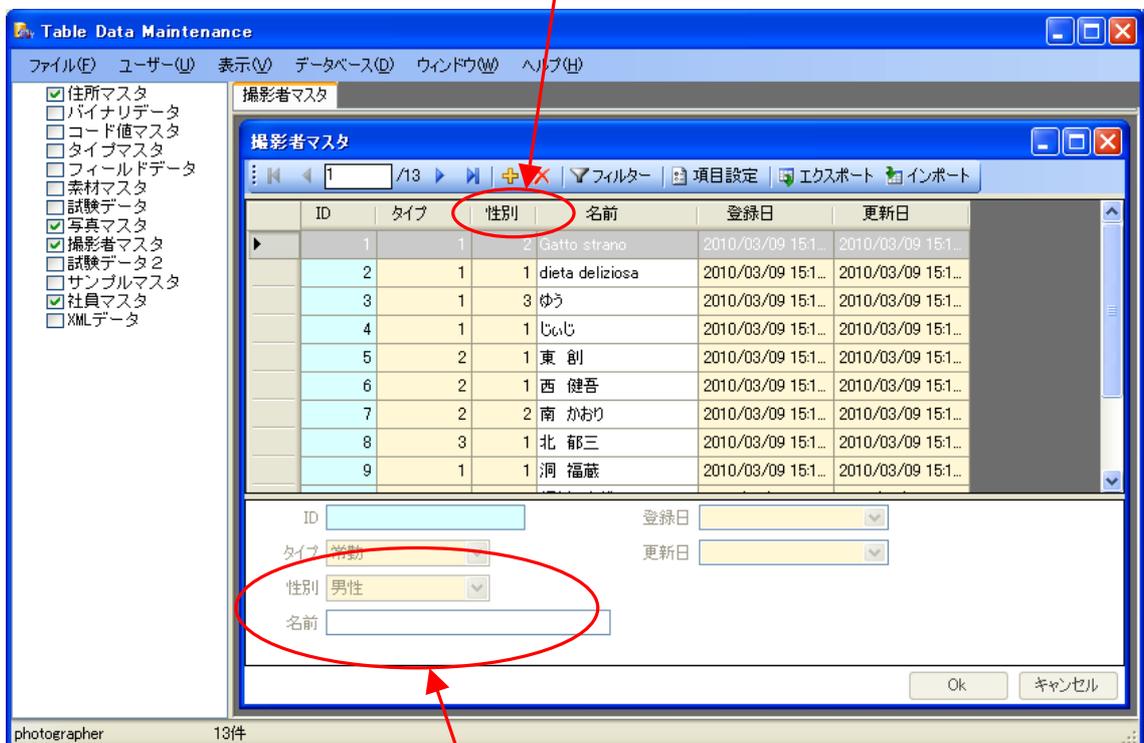


4.4.10.3 列・入力コントロールの位置移動

一覧表の列ヘッダーでマウス左ボタンをクリックしドラッグして列を移動すると入力エリアのコントロールも配置が移動します。



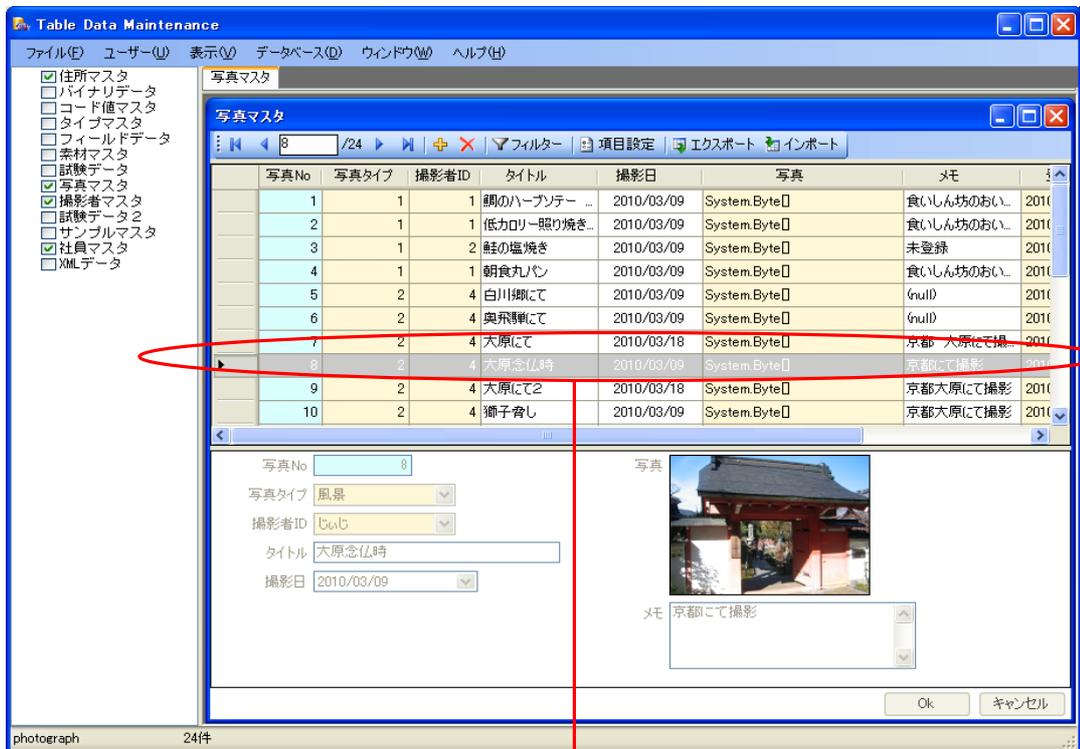
「性別」を移動



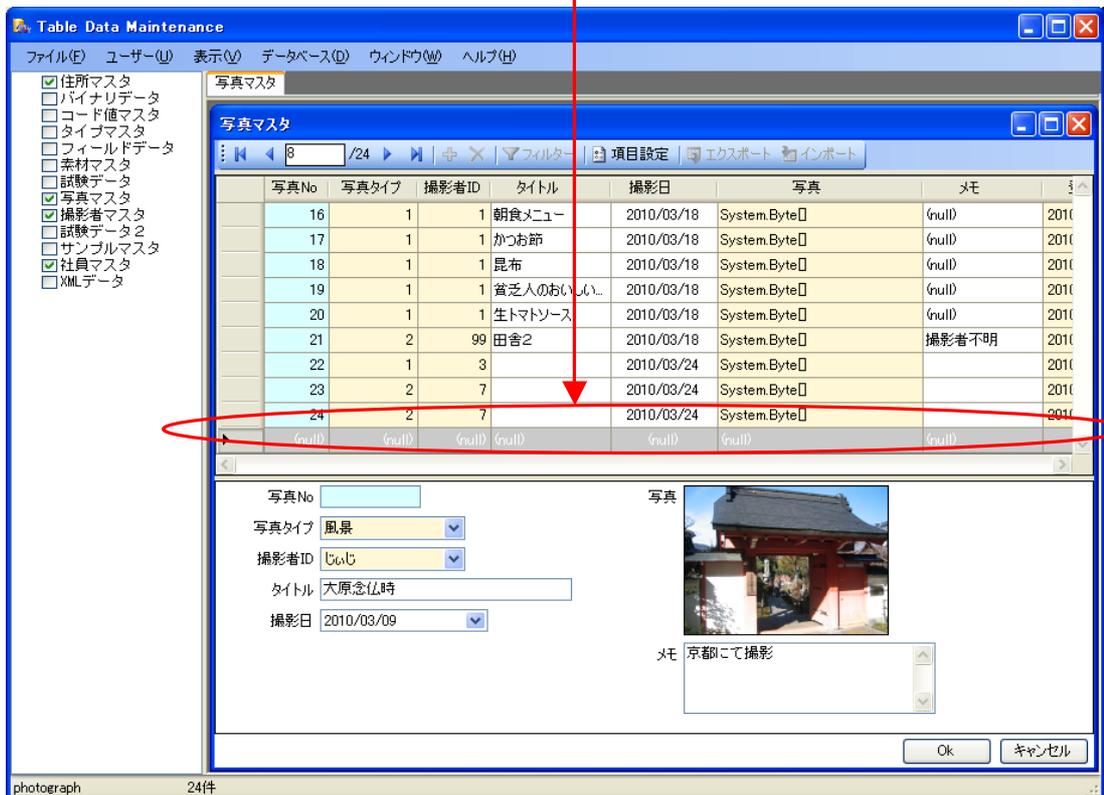
入力コントロールの「性別」も移動

4.4.10.4 データの複写

テーブルデータ一覧表示エリアでマウス右ボタンをクリックすると、「複写」メニューが表示されます。「複写」を選択すると選択されていた行のデータが追加されデータ入力エリアが編集状態になります。



選択行のデータを複写



4.4.11 データ入力エリア

TDM 初回起動時は SQLServer の列の設定に従い入力コントロールを配置し、入力制限等を実施します。

4.4.11.1 数値型

下記の入力範囲に従って入力制限チェックを行います。

データ型	入力可能範囲
bigint	-9,223,372,036,854,775,808 ~ 9,223,372,036,854,775,807
int	-2,147,483,648 ~ 2,147,483,647
smallint	-32,768 ~ 32,767
tinyint	0 ~ 255
bit	1、0、または NULL
decimal	SQL Server で設定した有効桁数
numeric	SQL Server で設定した有効桁数
money	-922,337,203,685,477.5808 ~ 922,337,203,685,477.5807
smallmoney	-214,748.3648 ~ 214,748.3647

テーブルデータ入力画面のメニュー「項目設定」で数値項目を設定した場合、「項目設定」で設定した内容を優先します。

4.4.11.2 テキスト型

下記の入力範囲に従って入力制限チェックを行います。

データ型	入力可能範囲
char	SQL Server で設定した有効文字列長
varchar	
nchar	

テーブルデータ入力画面のメニュー「項目設定」でテキスト項目を設定した場合、「項目設定」で設定した内容を優先します。

4.4.11.3 日付型

日付設定コントロールを表示します。

テーブルデータ入力画面のメニュー「項目設定」で日付項目を設定した場合、「項目設定」で設定した内容を優先します。未設定の場合は「日時」として扱います。

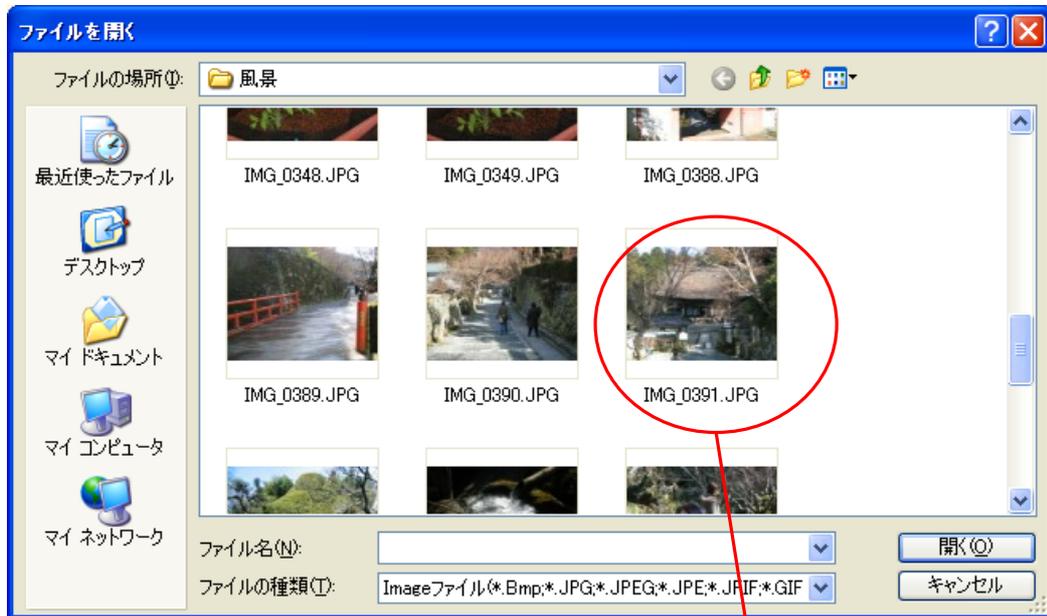
「項目設定」で「日時」「日付」設定時は、入力コントロールの  を押下するとカレンダーを表示します。



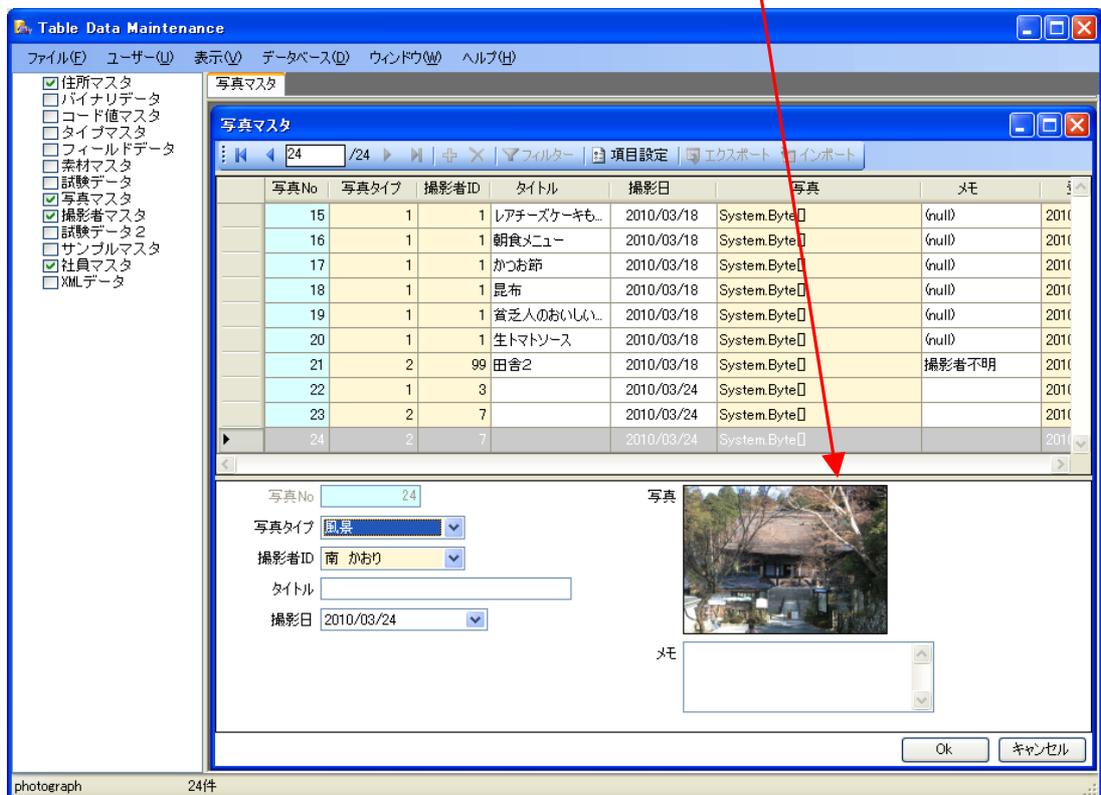
4.4.11.4 バイナリ型

image、binary、varbinary 型の入力コントロール上でマウス右クリックすると、「ファイル選択」、「クリア」メニューが表示されます。

「ファイル選択」を選択すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。

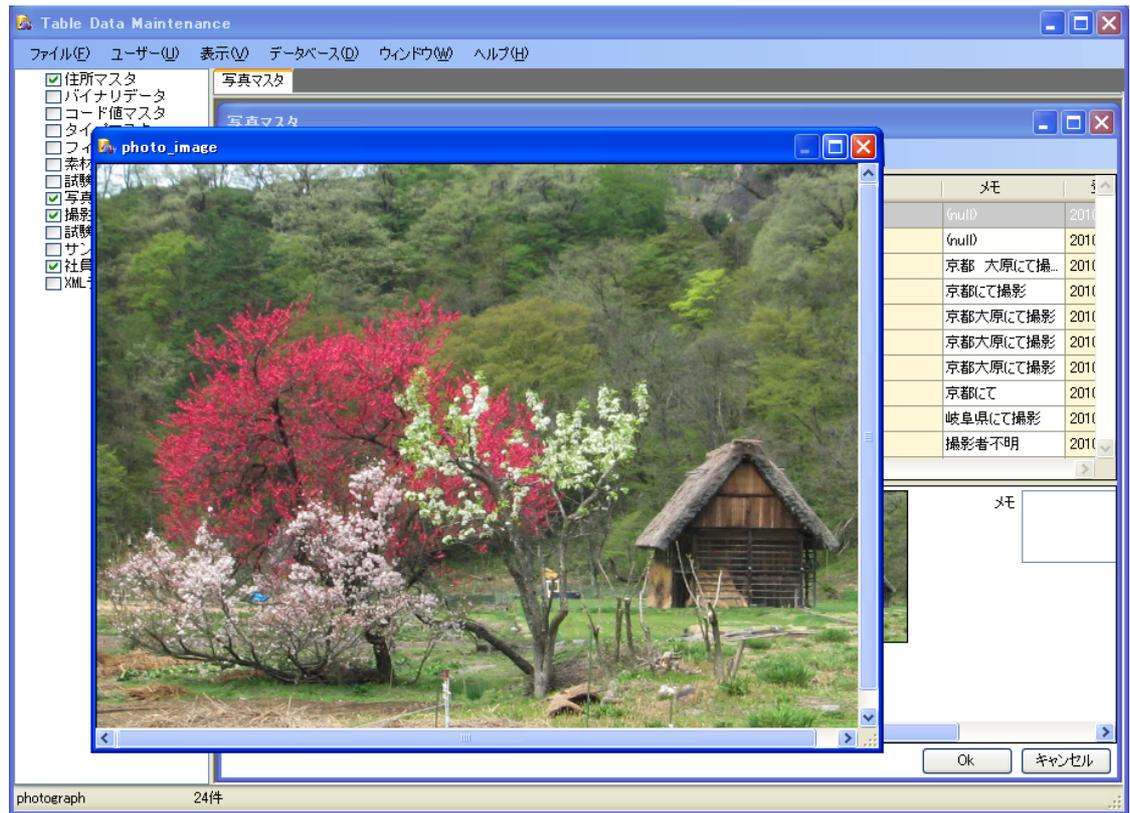


画像を選択し、「開く」を押下すると、選択した画像が入力されます。

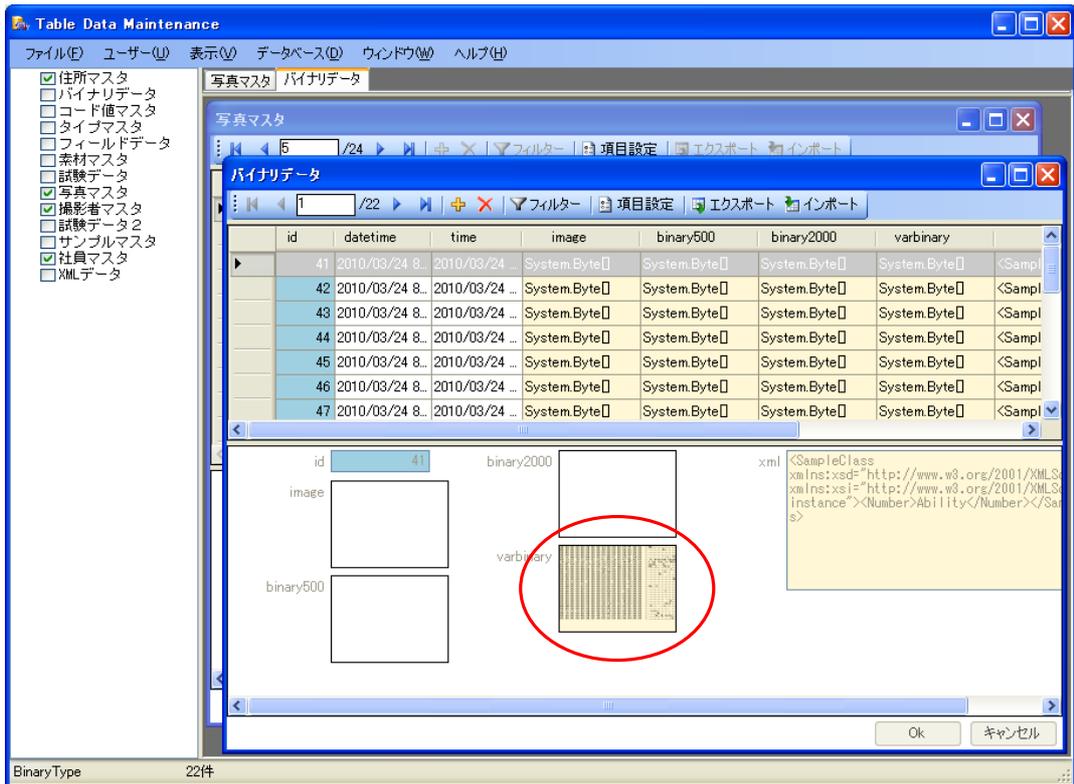


エクスプローラで表示している画像を image、binary、varbinary 型の入力コントロール上にドラッグ & ドロップすることも可能です。

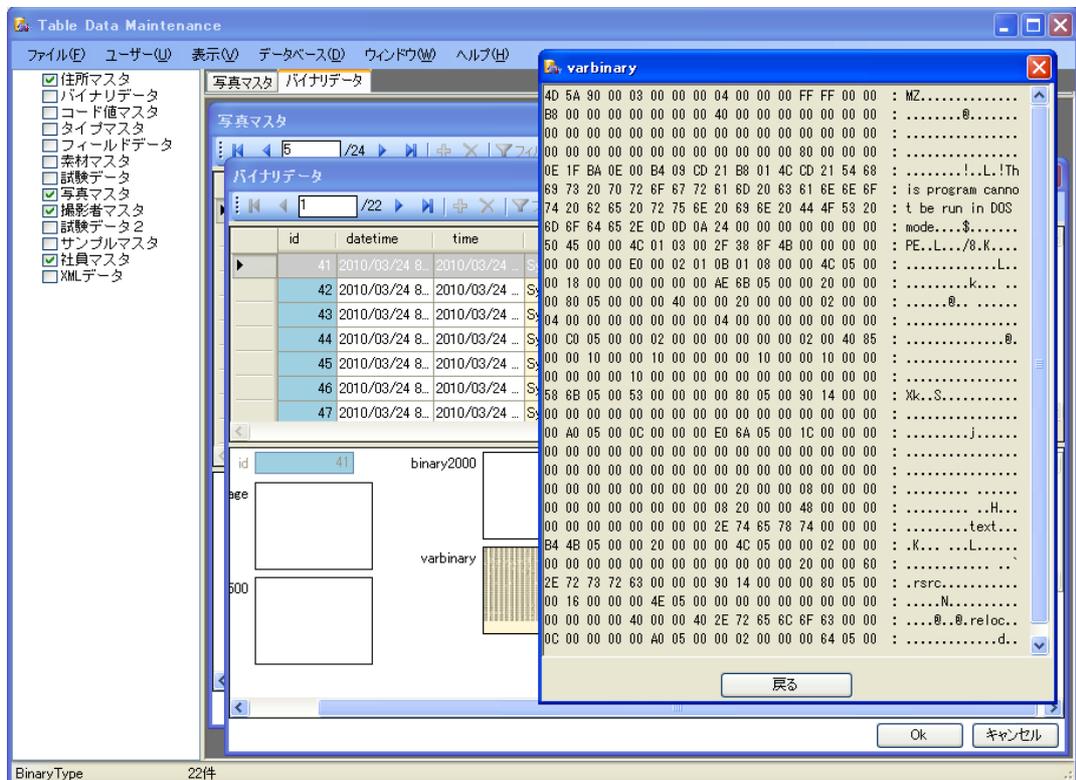
入力コントロール上でマウス左ボタンをダブルクリックすると画像を表示します。



画像ファイル以外のデータが入力された場合、バイナリデータを表示します。



入力コントロール上でマウス左ボタンをダブルクリックするとバイナリデータの DUMP を最大 480Byte 表示します。

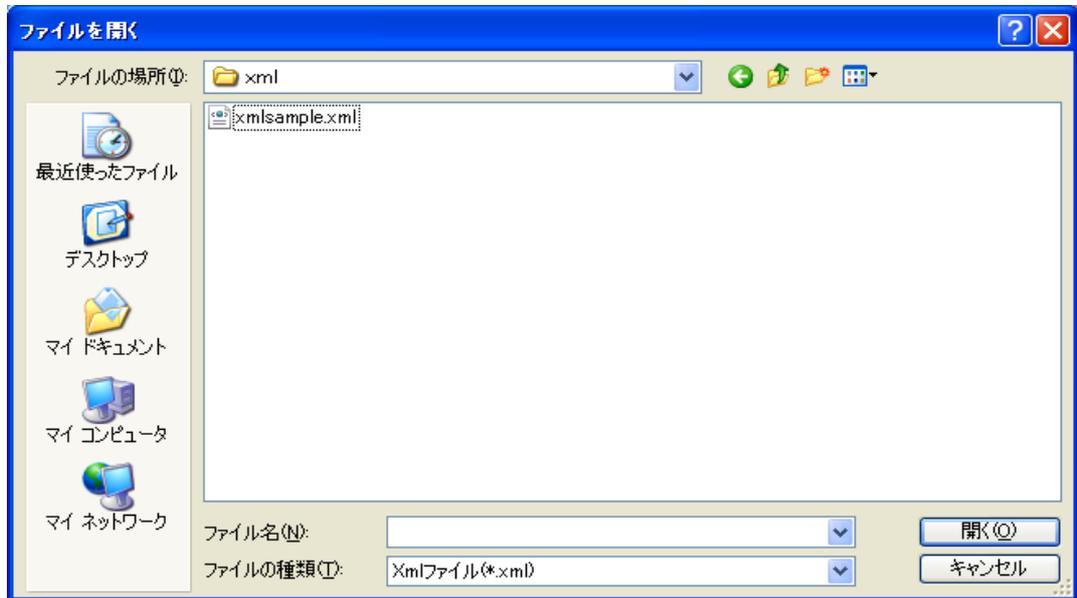


入力コントロール上で「クリア」メニューを選択すると、入力されている画像やバイナリデータを消去します。

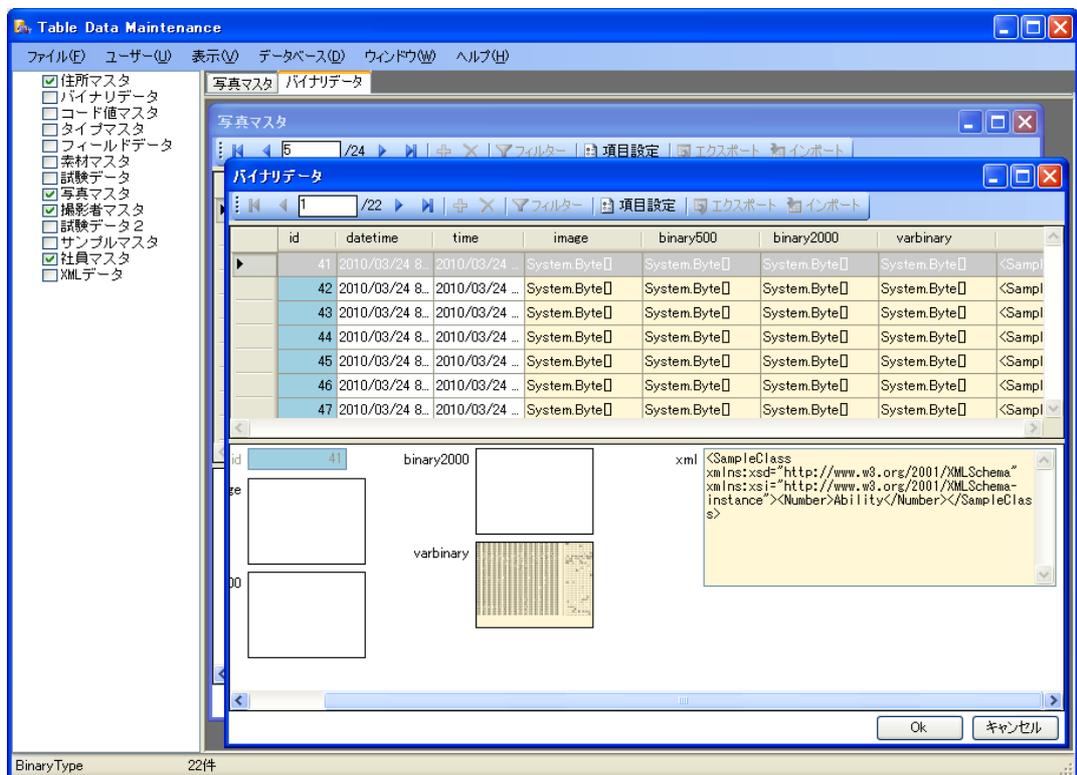
4.4.11.5xml 型

xml 型の入力コントロール上でマウス右クリックすると、「ファイル選択」、「クリア」メニューが表示されます。

「ファイル選択」を選択すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。



ファイルを選択し、「開く」を押下すると、選択したファイルの内容が入力されます。



エクスプローラで表示している画像を xml 型の入力コントロール上にドラッグ & ドロップすることも可能です。

入力コントロール上で「クリア」メニューを選択すると入力されている内容を消去します。

4.4.11.6 未対応の型

テーブルにNULLを容認しない `sql_variant`、`uniqueidentifier` 型のフィールドが存在する場合、マスターメンテでは参照モードとしてテーブルデータ入力画面を表示します。

5. インストール方法

TDMaintenance.lzh を解凍し、setup.exe を起動してください。

※MySQL 版の場合は TDMforMysql.lzh を起動してください。

6. アンインストール方法

コントロール パネルの「プログラムの追加と削除」で TDMforSqlServer を削除してください。

※MySQL 版の場合は TDMforMySQL を削除してください。